

施工業者様用

〈施工説明書〉

片引き戸・引き違い戸・ 引き分け戸(上吊りタイプ)専用枠材

ソフトアート

調整枠

[標準] 片側ソフトクローズ [オプション] 両側ソフトクローズ・ソフトクローズ無し

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



禁止

・屋内専用。

屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進む原因となります。

・インパクトドライバーで締めすぎないようにする。

インパクトドライバーの締めつけトルクが強すぎると、ビスが空回りしてしまうおそれがあります。

・ビスはビス穴に取り付ける。

ビス穴加工以外の位置にビスを取り付けると、枠材に割れが発生し、扉の脱落の原因となり危険です。



必ずおこなう

・開梱後は換気を行なう。

本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。

・躯体に欠点がないことを確認する。

枠材固定のビスがあたる部分に筋や割れなどの欠点がある場合、枠材が確実に固定されず、はずれてしまう原因となり危険ですので、強固に固定できるよう下穴や下地材を入れてください。

・補強の飼木(現場調達)を入れる。

ソフトクローズ仕様の時は、トリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を必ず入れてください。飼木で補強をしないと、鴨居が破損してしまうおそれがあります。

・同梱の金具を使用する。

本製品の取り付け、施工には必ず同梱の金具類を使用してください。

お願い

- ・施工完了までは、立て掛けたりすると反りの発生原因となりますので、水平になるように保管してください。
- ・照明灯・ストーブなどを近づけると熱により変色しますので、開梱後施工完了まで1メートル以上離してください。

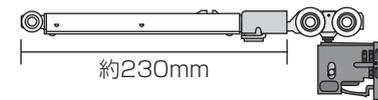
梱包内訳表

※商品の種類によって、同梱されていても使用しない部材があります。

枠本体セット							別梱包		
部材名	縦枠 (開口部側)	縦枠 (戸袋側)	中方立 (モヘア付)	鴨居	鴨居 レール 幕板付 (アルミ)	鴨居 レール (アルミ)	ケーシング セット		
入数	片引き戸	1本	1本	1本	1本	1本	縦用4本	横用2本	
	引き違い戸	2本	—	—	1本	1本	縦用4本	横用2本	
	引き分け戸	—	2本	2本	1本	1本	縦用4本	横用2本	
備考 (部材品番等)							—	—	—

ビスセット(枠本体セットに同梱)								
部材名		袋の色	赤	赤	赤	黄	黄	透明
			木ダボ 6mm 35mm	組み立て ビス 62mm φ3.8mm	下枠固定 ビス 25mm φ3.5mm	躯体接合 金具ビス 47mm φ3.8mm	六角レンチ 7mm L50mm	クッション キャップ φ16
		セット品番						
入数	片引き戸	ZYMK01-□	2本	6本	5本	10本	1本	8個
	引き違い戸	ZYMH01-□	2本	4本	9本	11本	1本	8個
	引き分け戸	ZYML01-□	2本	8本	9本	12本	1本	8個
備考 (部材品番等)			—	—	使用しません	枠と躯体の 固定に 使用できます。	—	—

①クローザー本体(ショートストローク)



②クローザー本体(ロングストローク)



金具セット(枠本体セットに同梱)【標準:片側ソフトクローズ】											
部材名			吊車	振れ止め 金具 (床付用)	戸じゃくり キャップ	引き分け ストッパー	上レール 取り付け ビス (皿ビス) 18mm φ3.5mm	クローザー 本体 (吊車セット)	トリガー セット (ビス2本セット)	トリガー 取り付け 治具	
入数	片引き戸	1324・1190	ZYTKS4	1個	1個	2個	—	6本	①	①	1
		1824・1644・1450	ZYTKL4	1個	1個	2個	—	6本	②	①	1
	引き違い戸	1824・1644	ZYTHL4	2個	2個	2個	—	12本	③	②	1
	引き分け戸	3234	ZYTLL8	2個	2個	2個	1個	12本	④	②	1
備考 (部材品番等)			ZYTF01	ZY3334	ZYTNC01	ZY3337	ZYTA01	—	⑤ZYTS12 ⑥ZYTL12	ZYTG11	

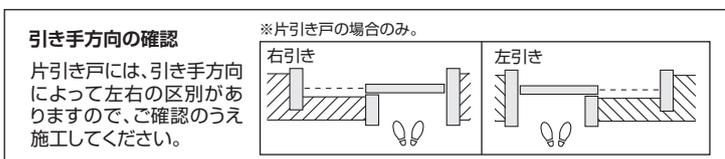
※両側ソフトクローズにしたい場合は追加で下記セットをご発注ください。

別売品【ソフトクローズ金具セット】						
部材名			クローザー 本体 (吊車なし)	トリガー セット (ビス2本セット)		
入数	片引き戸	1450・1324・1190	ZYTRS1-7	×1	①	①
		1824・1644	ZYTRL1-7	×1	②	②
	引き違い戸	1824・1644	ZYTRL1-7	×2	③	③
	引き分け戸	3234	ZYTRL1-7	×2	④	④

両側ソフトクローズ
片引き戸 施工
9ページに進んでください。

両側ソフトクローズ
引き違い戸 施工
15ページに進んでください。

両側ソフトクローズ
引き分け戸 施工
21ページに進んでください。



片引き戸 施工…5ページに進んでください。

引き違い戸 施工…11ページに進んでください。

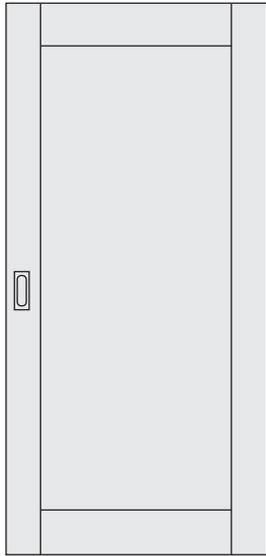
引き分け戸 施工…17ページに進んでください。

ソフトクローズ一覧表

■ドアのサイズによってソフトクローズ金具のサイズが異なります。ご注意ください。

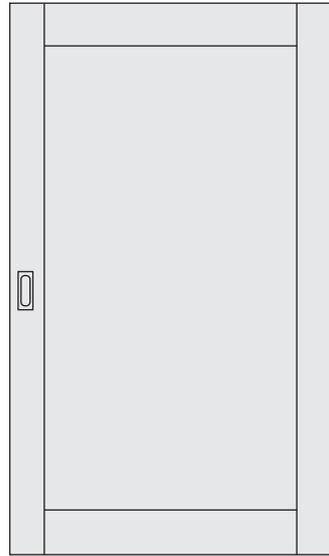
①ドアサイズ580～712の場合

スライダー Short+Short



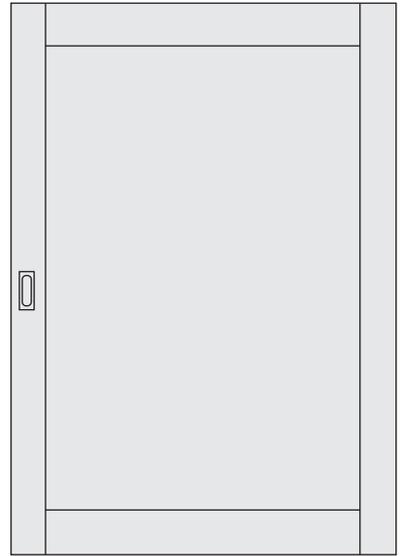
②ドアサイズ713～809の場合

スライダー Long+Short



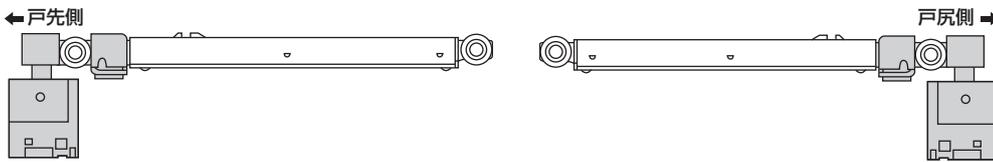
③ドアサイズ810～900の場合

スライダー Long+Long

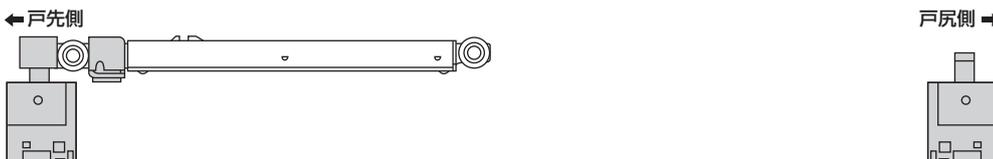


■クローザー本体の挿入向きをご確認ください。(下記図は下荷重の場合)

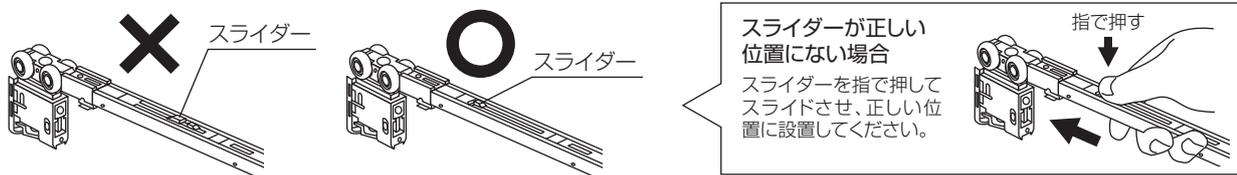
両側ソフトクローズの場合



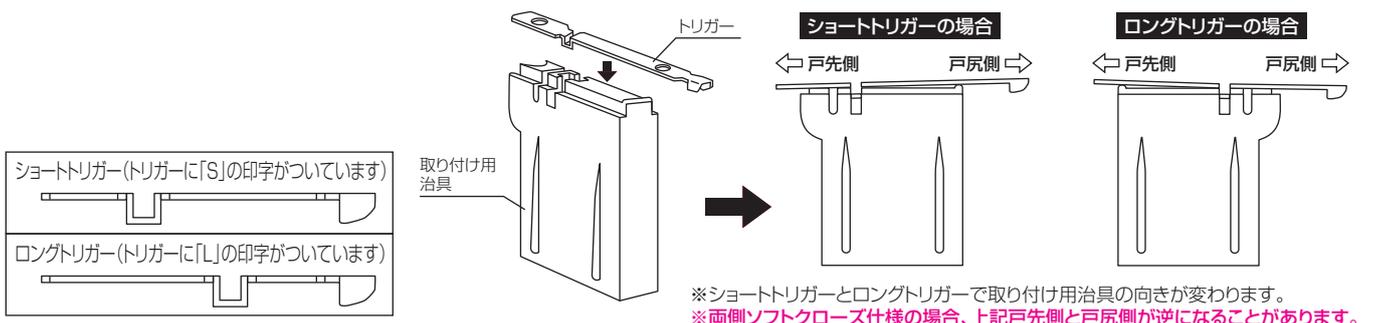
片側ソフトクローズの場合



■挿入前にスライダーの位置を確認してください。(下記図は上吊りの場合)



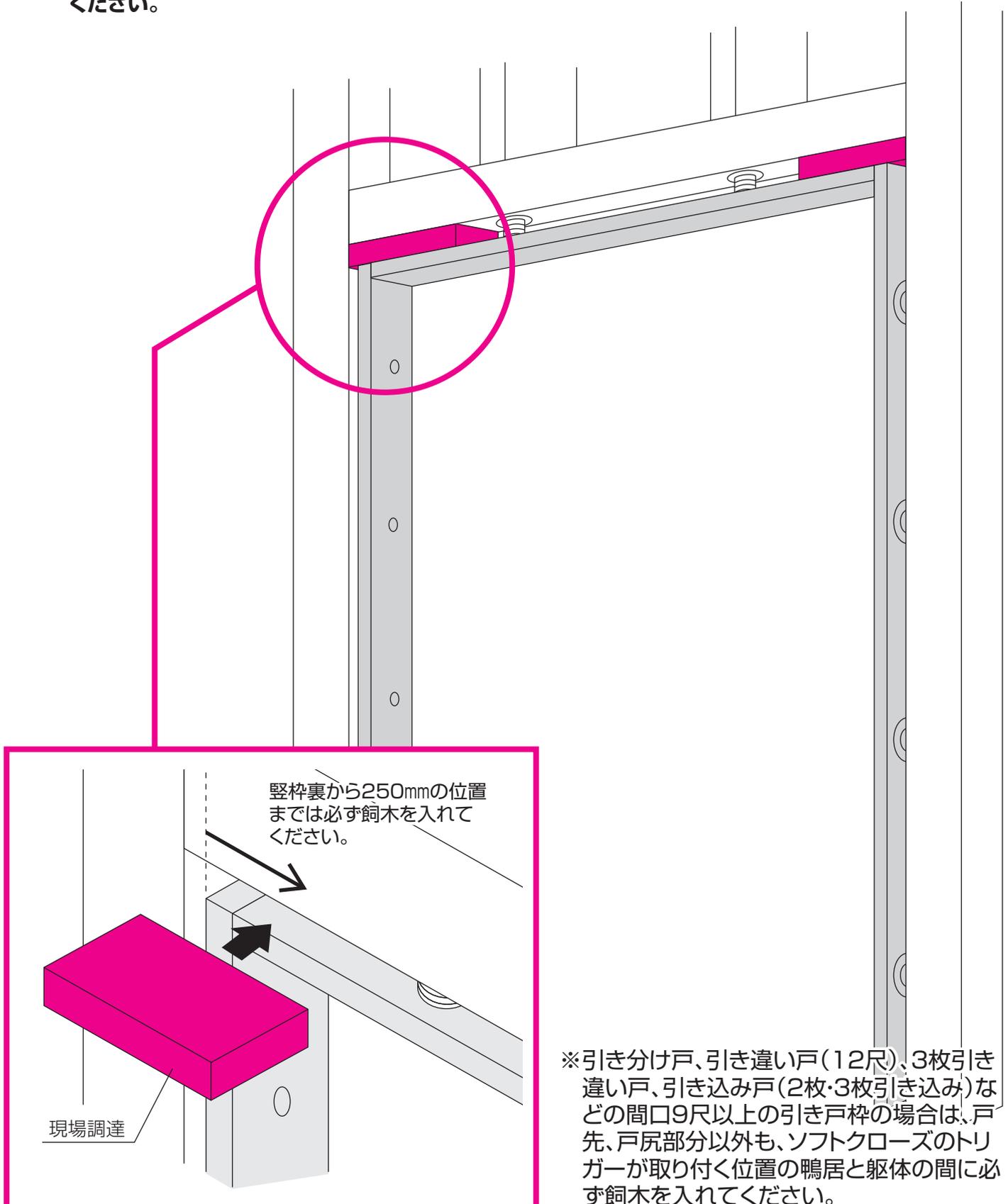
■トリガーの取り付け向きに注意してください。(トリガーはロング用とショート用の2種類あります)



必ず行ってください!!

ソフトクローズ仕様の場合、鴨居に負荷がかかりますので、トリガーの取り付け位置の鴨居裏には必ず補強用の飼木(現場調達)を入れてください。

※将来ソフトクローズ仕様へ変更する可能性がある場合にも、あらかじめ補強用の飼木を入れておいてください。



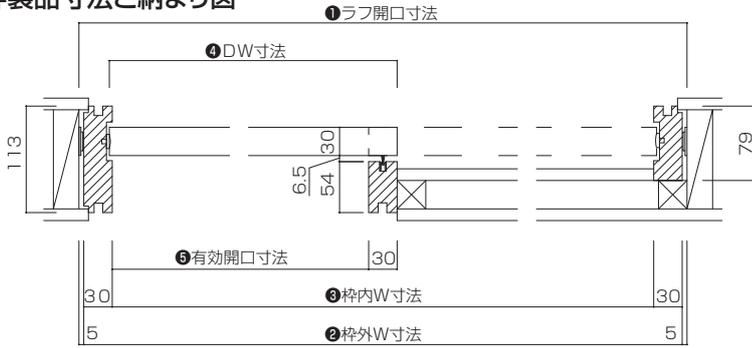
【片引き戸】納まり図

枠本体に躯体接合金具が付いているため、下記のラフ開口に準じた施工をお勧めします。
下記レール詳細図を確認し、トリガー、ストッパーなどの取り付け位置をご確認ください。

横断面図

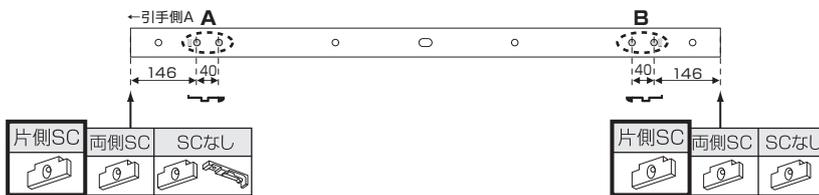
(単位:mm)

■枠製品寸法と納まり図



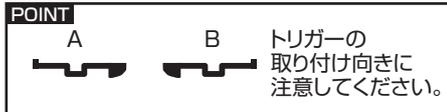
製品寸法	1,824	1,644	1,450	1,324	1,190
①ラフ開口寸法	1,834	1,654	1,460	1,334	1,200
②枠外W寸法	1,824	1,644	1,450	1,324	1,190
③枠内W寸法	1,764	1,584	1,390	1,264	1,130
④DW寸法	900	810	713	650	583
⑤有効開口寸法	867	777	680	617	550

■レール詳細図



■トリガー取り付け位置

片側ソフトクローズ仕様	A
両側ソフトクローズ仕様	A・B

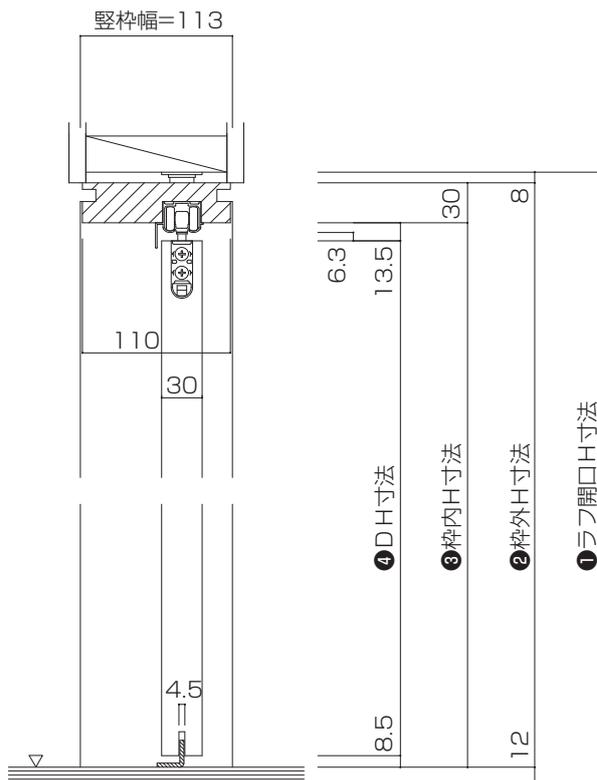


※SC…「ソフトクローズ」の略称です。



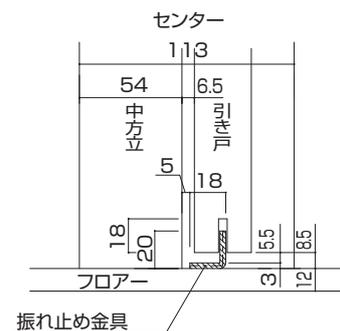
縦断面図

(単位:mm)



製品寸法	標準タイプ DH1,983	ハイドア DH2,183
①ラフ開口寸法	2,055	2,255
②枠外H寸法	2,035	2,235
③枠内H寸法	2,005	2,205
④DH寸法	1,983	2,183

振れ止め金具取り付け位置

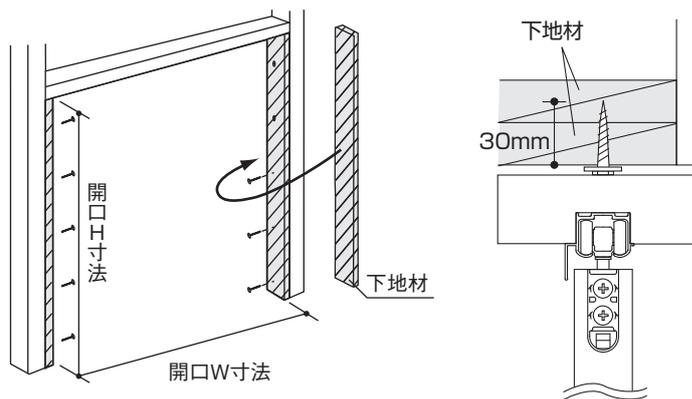


施工手順

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

1 取り付け開口部の確認

開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合った開口を設けてください。



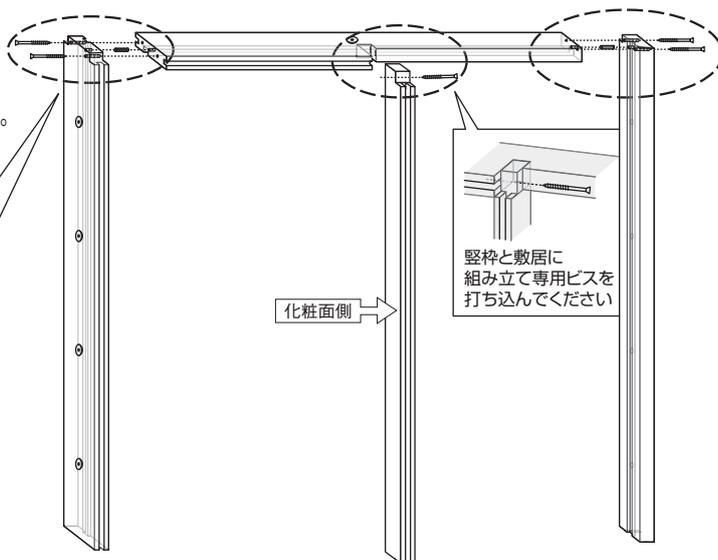
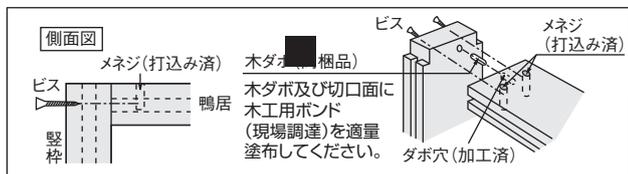
⚠ 注意

扉の自重に対するビスの保持のアップの為、下地材は必ずダブルでとりつけて補強してください。

2 枠材の組み立て

■ 枠材を専用ビスを使用して組み立ててください。

部材の上下、左右を確認のうえ、組み立てをおこなってください。鴨居、竖枠などの固定は必ず同梱のビス・ダボなどを使用してください。



3 枠材の仮固定と竖枠のビス固定

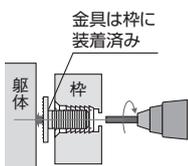
3方に組んだ枠材を開口部にセットしてください。

本製品の枠材には躯体接合金具が装備されているので仮固定に別途パッキン材などを用意する必要はありません。

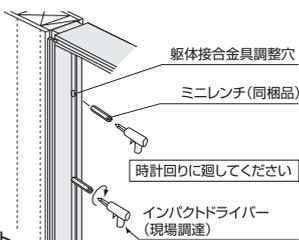
① 枠材の仮固定

開口部に枠材をはめ込み、水平と垂直、ネジレを調整し、同梱のミニレンチを使用し、躯体接合金具を突っ張らせて枠材を仮固定します。

ポイント 金具で突っ張らせて枠を仮固定する



同梱のミニレンチをインパクトドライバーにチャックして、時計回りに廻し、金具の足を柱まで伸ばします。チャックできないインパクトドライバーの場合は、ミニレンチの十字にビットを差し込んでご使用ください。

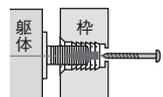


⚠ 注意

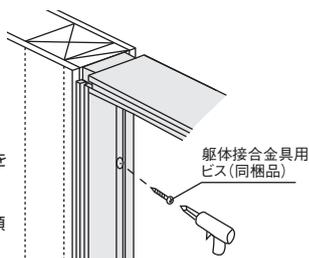
インパクトドライバーのトルクを強くしすぎると、金具が破損してしまうおそれがあります。

② 竖枠のビス固定

竖枠を躯体接合金具用ビスで躯体に固定させます。

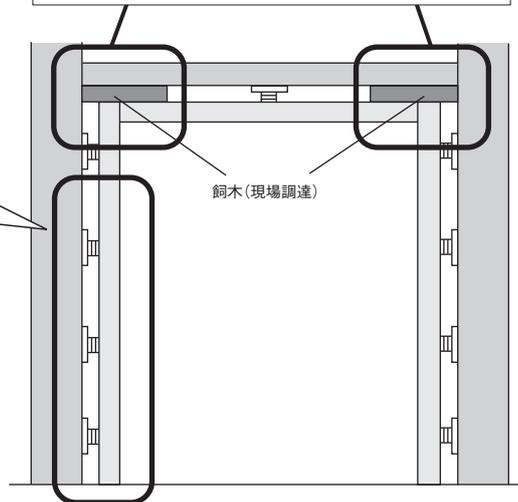


枠材表面の穴よりビスを差し込み、柱と枠を固定します。(竖枠→調整→鴨居の順に固定します。)



⚠ 注意

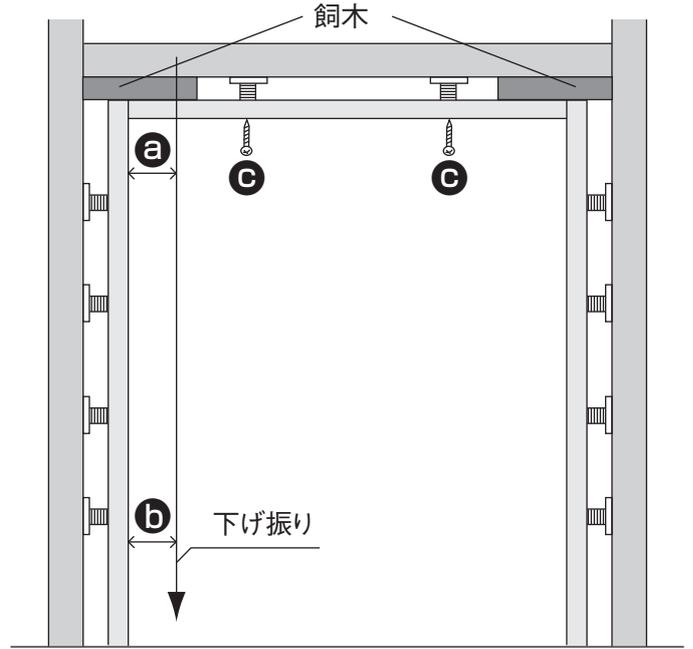
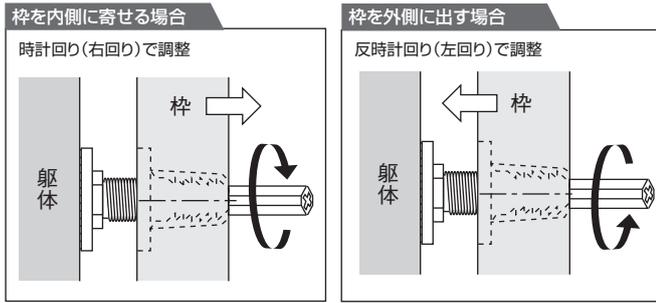
ソフトクローズ仕様の場合はトリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を入れる。
※この位置に飼木がないと、鴨居に負荷がかかってしまうおそれがあります。



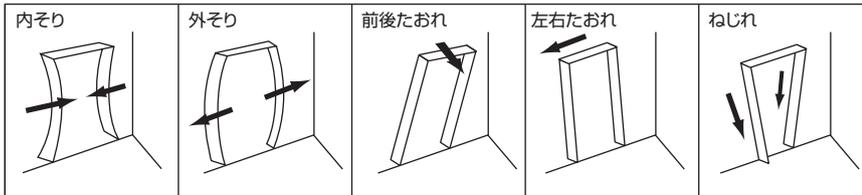
4 建て付け調整と鴨居の本固定

■ 縦枠を固定後、水準器などを使用し、縦枠、鴨居、敷居などの水平、垂直をよく確認し、縦枠と同様の手順で鴨居を固定してください。

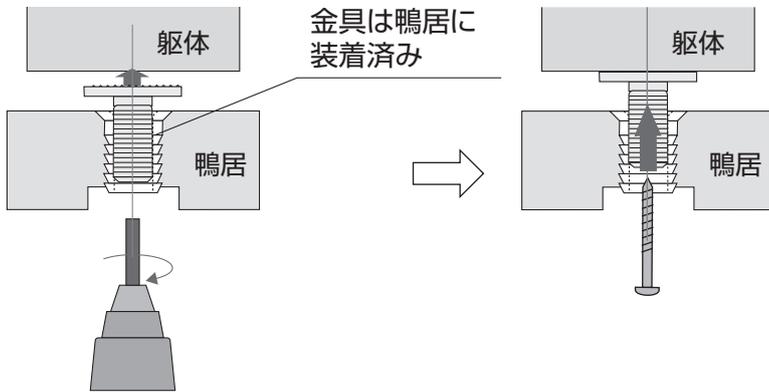
- ① 水準器などを使用し、**a**=**b**となるよう調整してください。
併せて前後の建りも調整してください。



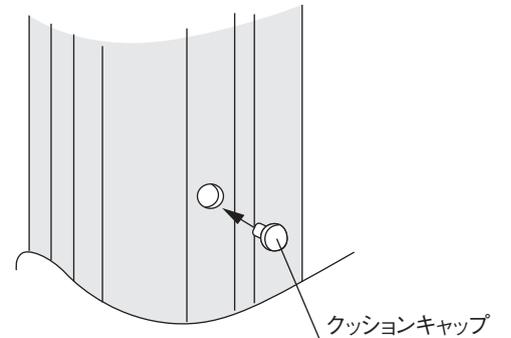
※下記の様なことがないようにご注意ください。



- ② **c**は建りを調整後、最後に固定してください。
縦枠と同様の手順で鴨居を固定します。



- ③ 縦枠を調整後、ビス穴にクッションキャップを取り付けます。



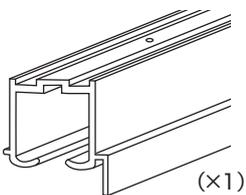
5 鴨居レールの取り付け

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

■ 幕板と鴨居レールの取り付け
幕板付きの鴨居レール
(アルミレール)になります。

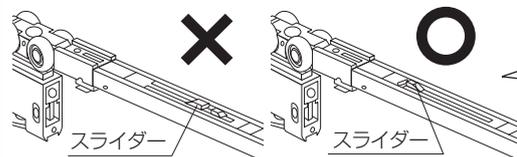
■ 吊車の挿入

鴨居レールに吊車を挿入してください。吊車はソフトクローズ機構の使用状況により下図のように向かい合わせでレールに入れてください。挿入方向を間違えると、扉が取り付けられないのでご注意ください。



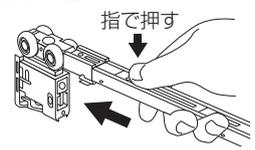
⚠ 注意

挿入前にスライダーの位置を確認してください。



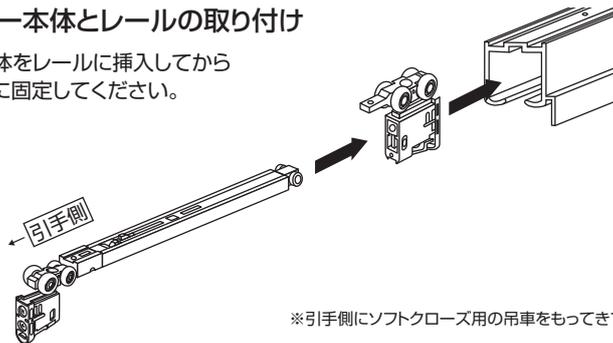
スライダーが正しい位置にない場合

スライダーを指で押してスライドさせ、正しい位置に設置してください。

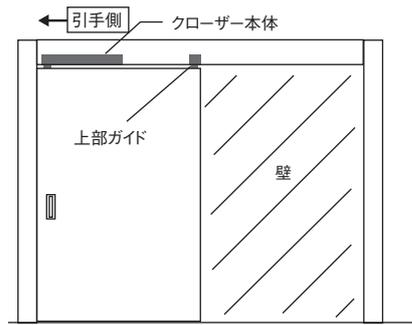


①クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してからレールを鴨居に固定してください。

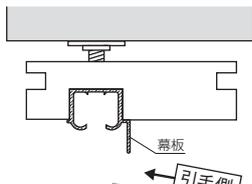


※引手側にソフトクローズ用の吊車をもってきてください。

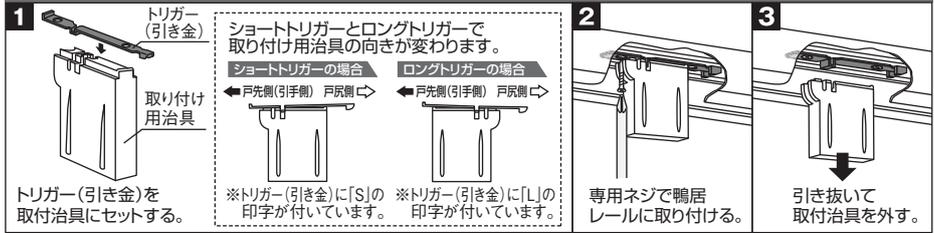


②鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて取り付けてください。



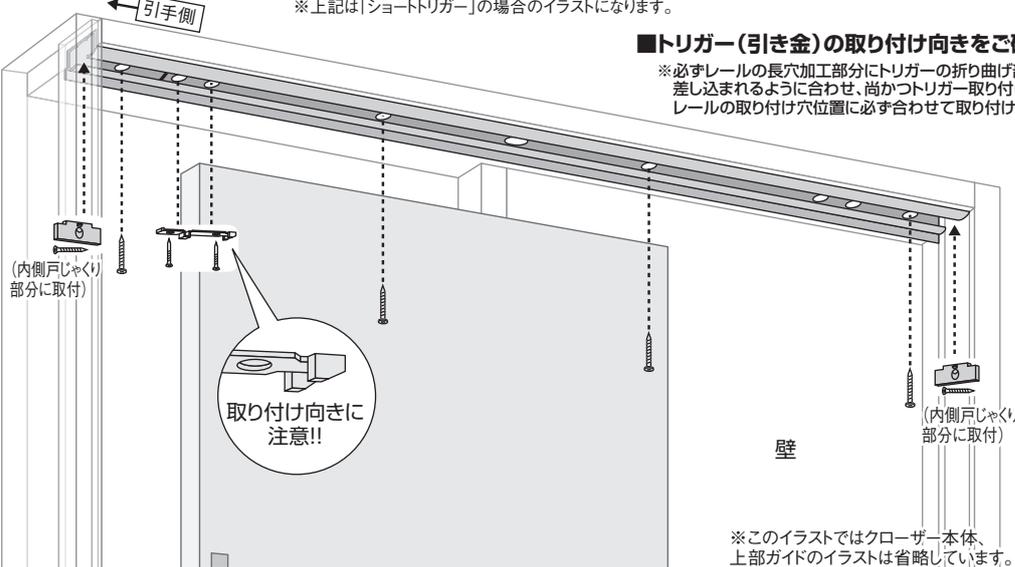
トリガー取付用治具使用方法



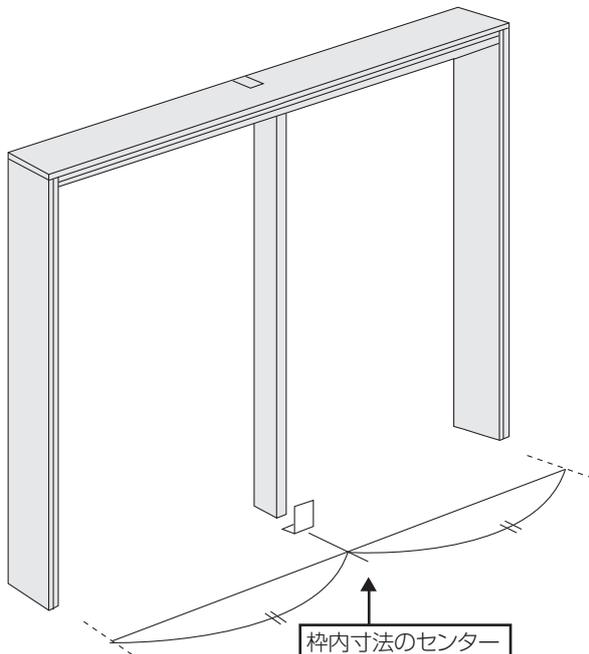
※上記は「ショートトリガー」の場合のイラストになります。

■トリガー(引き金)の取り付け向きをご確認ください。

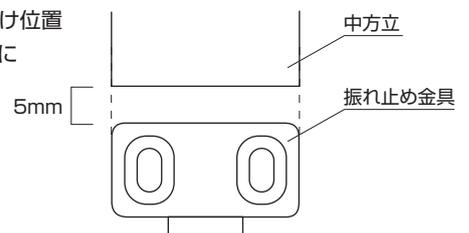
※必ずレールの長穴加工部分にトリガーの折り曲げ部分が差し込まれるように合わせ、尚かつトリガー取り付け穴2か所をレールの取り付け穴位置に必ず合わせて取り付けてください。



⑤ 振れ止め金具の取り付け

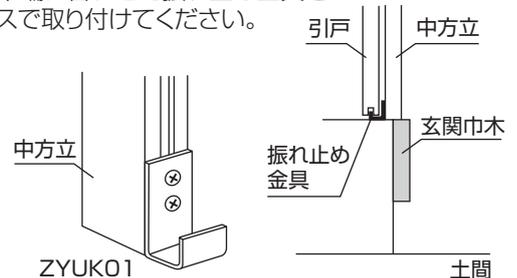


振れ止め金具取り付け位置
専用ビスでフローアーに
固定してください。



上吊り中方立取り付け用振れ止め金具(別売品)の場合

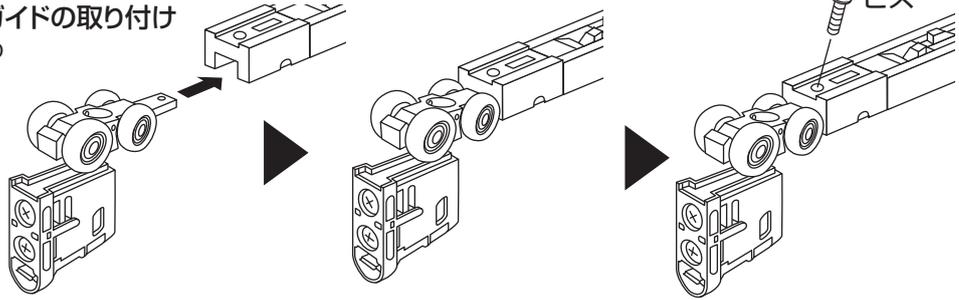
中方立の下端に合わせて振れ止め金具を同梱のビスで取り付けてください。



〈ソフトクローズ仕様の場合のみ〉

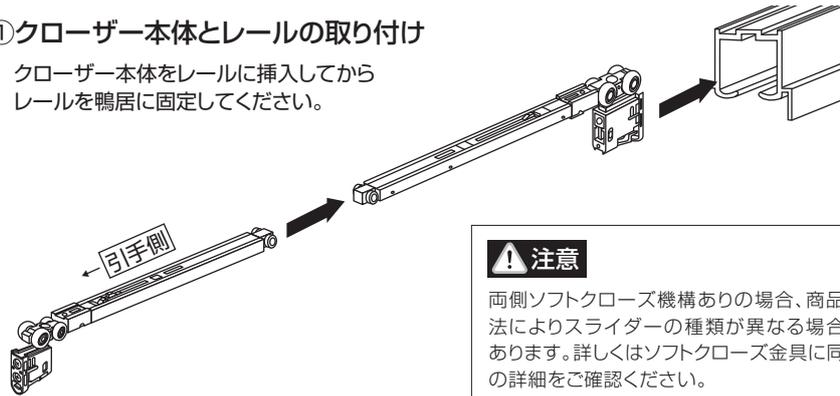
■クローザー本体と上部ガイドの取り付け

上部吊り車をクローザー本体の
スライダー先端の溝に
はめ込み専用のビスで
取り付けてください。



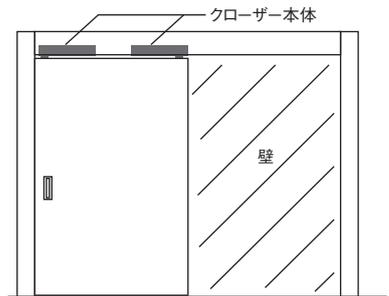
①クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してから
レールを鴨居に固定してください。



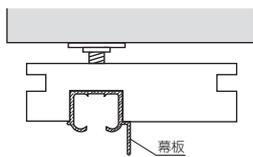
⚠ 注意

両側ソフトクローズ機構ありの場合、商品寸法によりスライダーの種類が異なる場合があります。詳しくはソフトクローズ金具に同梱の詳細をご確認ください。



②鴨居レールの取り付け

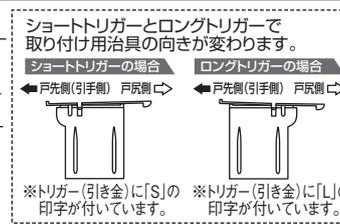
レールに付いている幕板を、
鴨居芯側に向けて取り付け
てください。



トリガー取付用治具使用方法



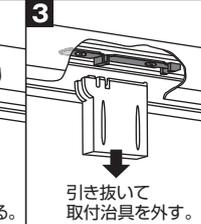
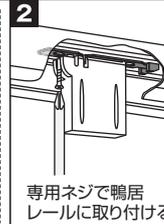
トリガー(引き金)を
取付治具にセットする。



※トリガー(引き金)に「S」の
印字が付いています。

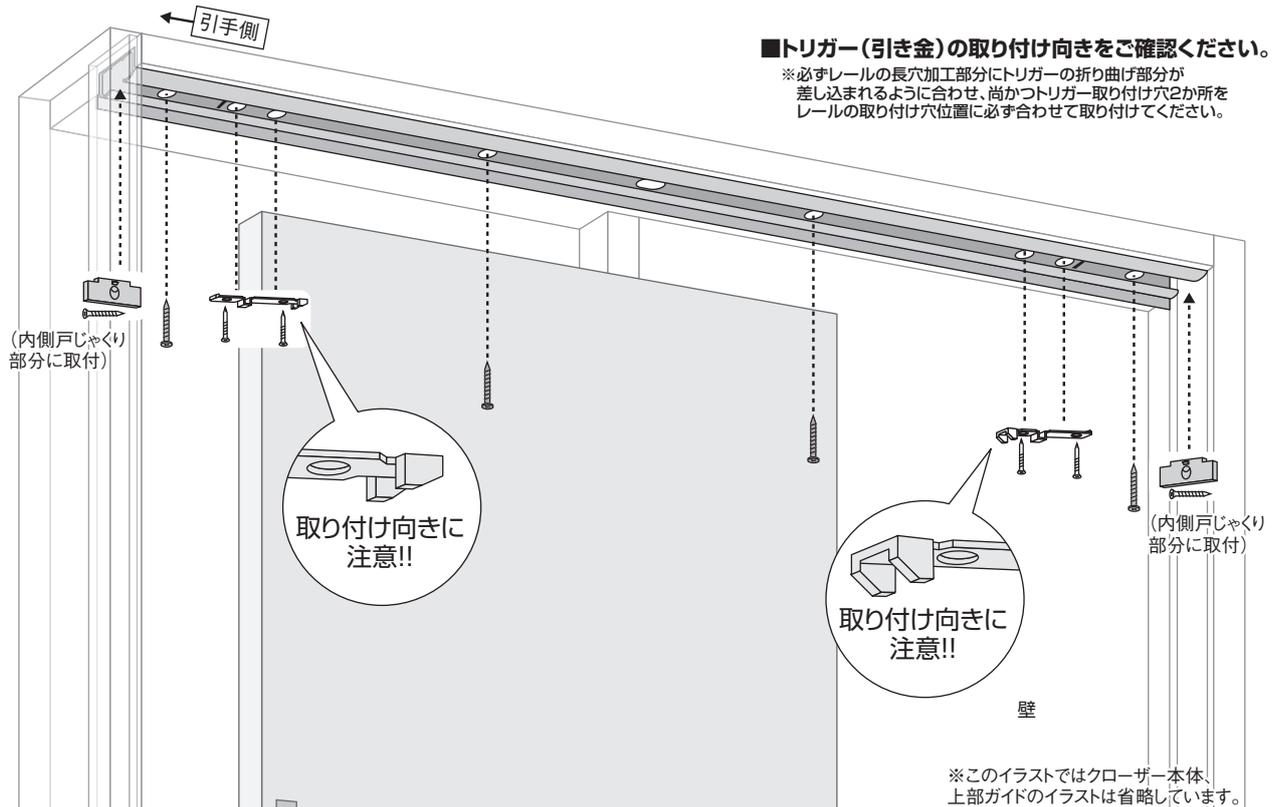
※トリガー(引き金)に「L」の
印字が付いています。

※上記は「ショートトリガー」の場合のイラストになります。



■トリガー(引き金)の取り付け向きをご確認ください。

※必ずレールの長穴加工部分にトリガーの折り曲げ部分が
差し込まれるように合わせ、尚かつトリガー取り付け穴2か所を
レールの取り付け穴位置に必ず合わせて取り付けてください。



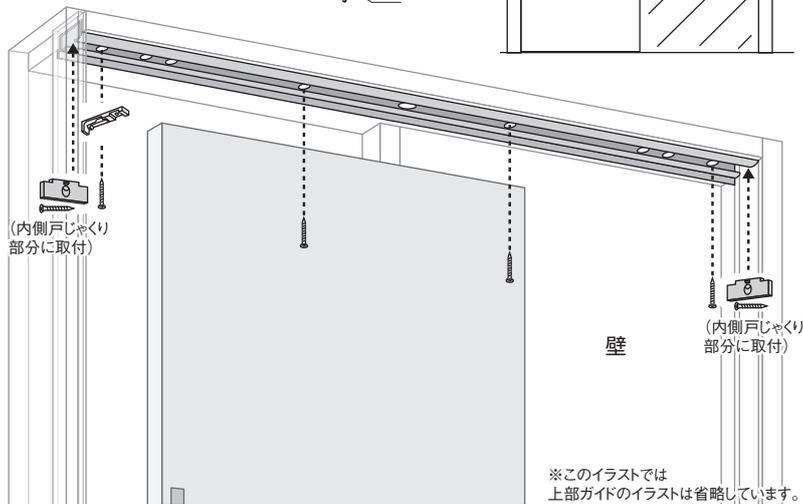
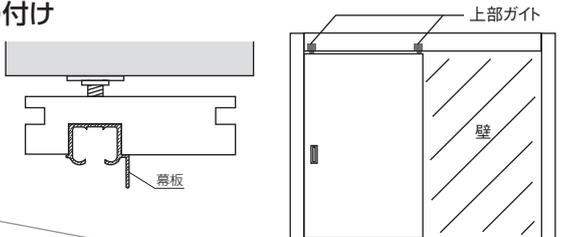
取り付け向きに
注意!!

取り付け向きに
注意!!

※このイラストではクローザー本体、
上部ガイドのイラストは省略しています。

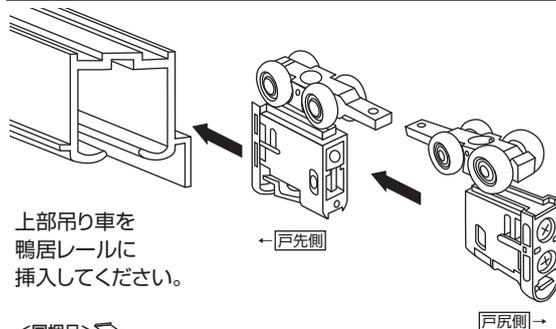
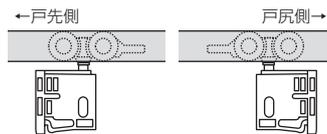
① 鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて取り付けてください。



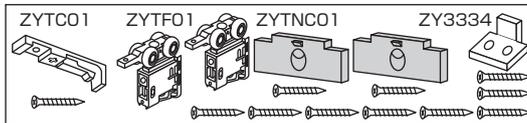
注意

レール取り付け後に吊り車の向きの変更は出来ませんので確実に取り付けを行ってください。



<同梱品>

上吊り片引き戸用金具セット (品番:ZYTK14)



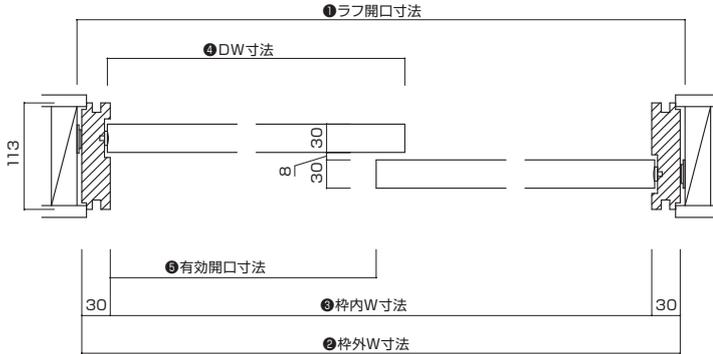
【引き違い戸】納まり図

枠本体に躯体接合金具が付いているため、下記のラフ開口に準じた施工をお勧めします。
下記レール詳細図を確認し、トリガー、ストッパーなどの取り付け位置をご確認ください。

横断面図

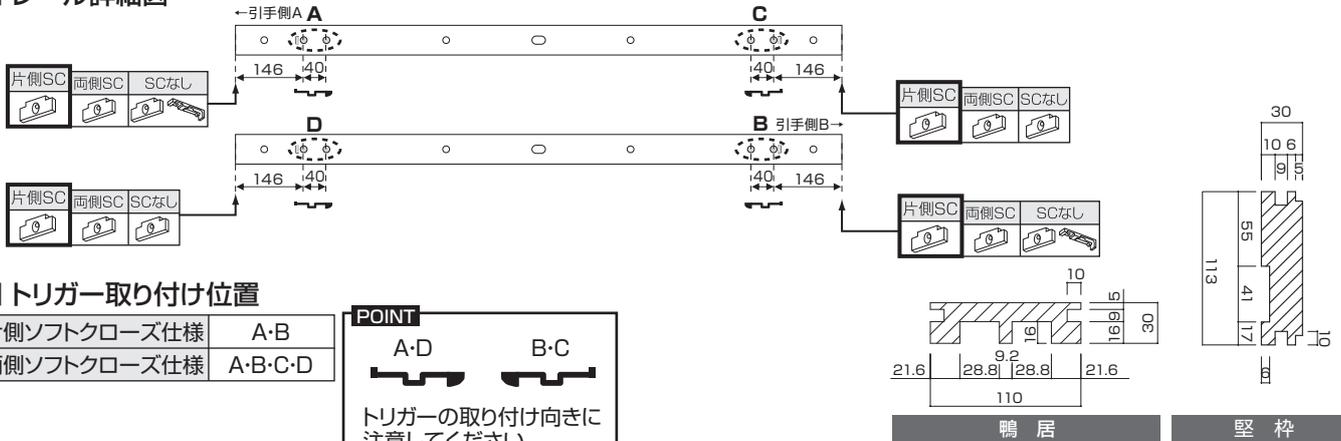
(単位:mm)

■ 枠製品寸法と納まり図



製品寸法	1,824	1,644
①ラフ開口寸法	1,834	1,654
②枠外W寸法	1,824	1,644
③枠内W寸法	1,764	1,584
④DW寸法	900	810
⑤有効開口寸法	867	777

■ レール詳細図



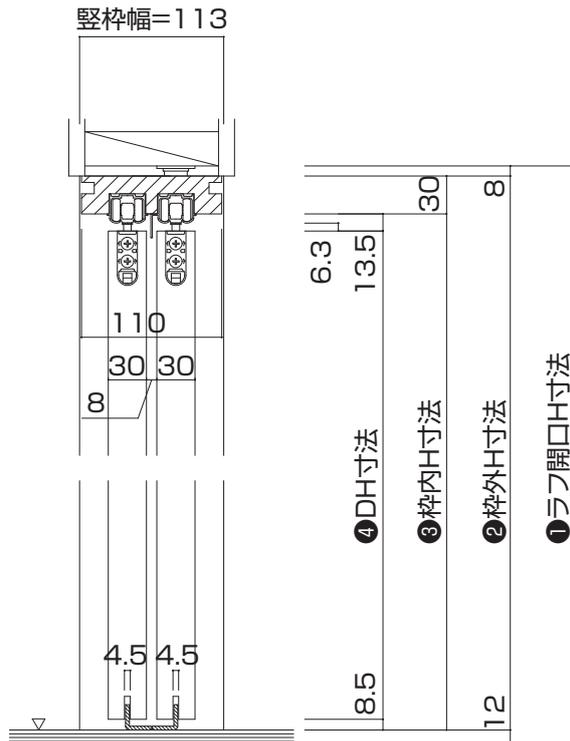
■ トリガー取り付け位置

片側ソフトクローズ仕様	A・B
両側ソフトクローズ仕様	A・B・C・D

※SC…「ソフトクローズ」の略称です。

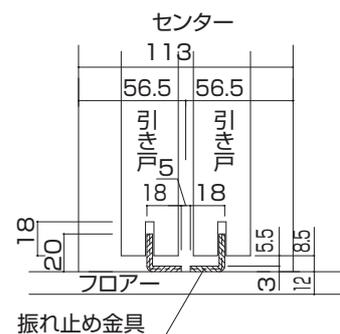
縦断面図

(単位:mm)



製品寸法	標準タイプ DH1,983	ハイドア DH2,183
①ラフ開口寸法	2,055	2,255
②枠外H寸法	2,035	2,235
③枠内H寸法	2,005	2,205
④DH寸法	1,983	2,183

振れ止め金具取り付け位置

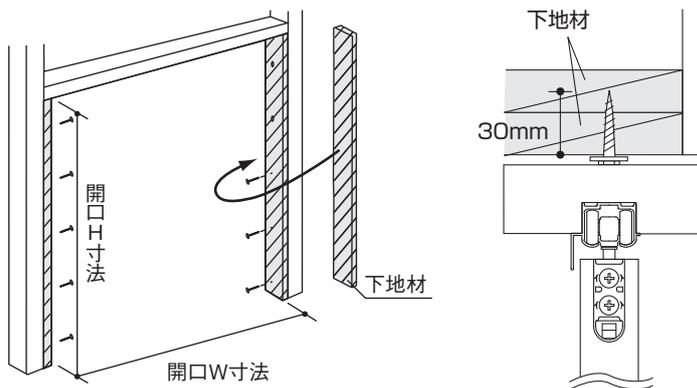


施工手順

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

1 取り付け開口部の確認

開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合った開口を設けてください。



⚠ 注意

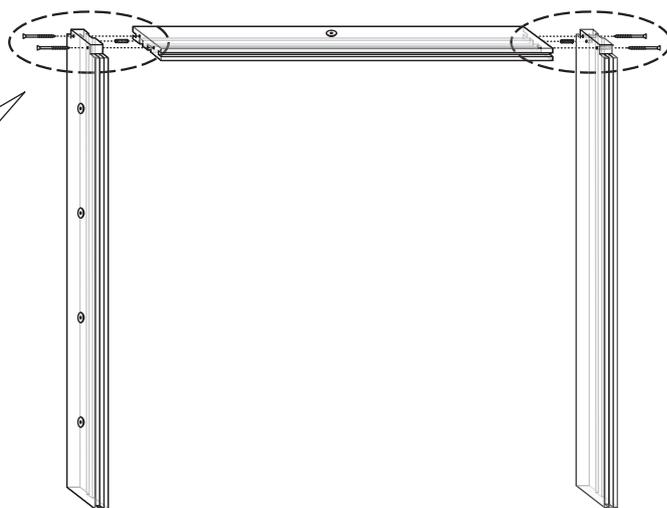
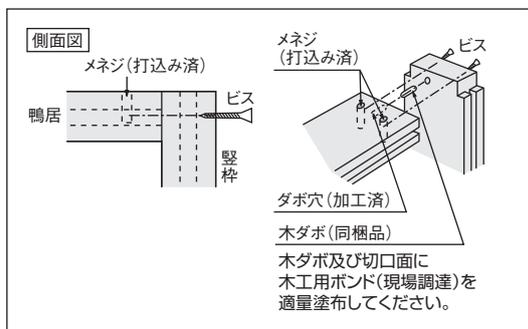
扉の自重に対するビスの保持のアップの為、下地材は必ずダブルでとりつけて補強してください。

2 枠材の組み立て

■ 枠材を専用ビスを使用して組み立ててください。

部材の上下、左右を確認のうえ、組み立てをおこなってください。

鴨居、縦枠などの固定は必ず同梱のビス・ダボなどを使用してください。



3 枠材の仮固定と縦枠のビス固定

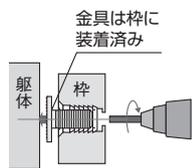
4方に組んだ枠材(床直付けレールの場合3方)を開口部にセットしてください。

本製品の枠材には躯体接合金具が装備されているので仮固定に別途パッキン材などを用意する必要はありません。

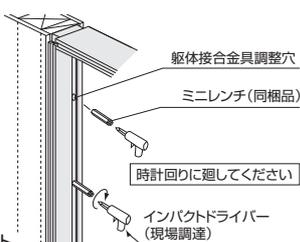
① 枠材の仮固定

開口部に枠材をはめ込み、水平と垂直、ネジレを調整し、同梱のミニレンチを使用し、躯体接合金具を突っ張らせて枠材を仮固定します。

ポイント 金具で突っ張らせて枠を仮固定する



同梱のミニレンチをインパクトドライバーにチャックして、時計回りに廻し、金具の足を柱まで伸ばします。チャックできないインパクトドライバーの場合は、ミニレンチの十字にビットを差し込んでご使用ください。

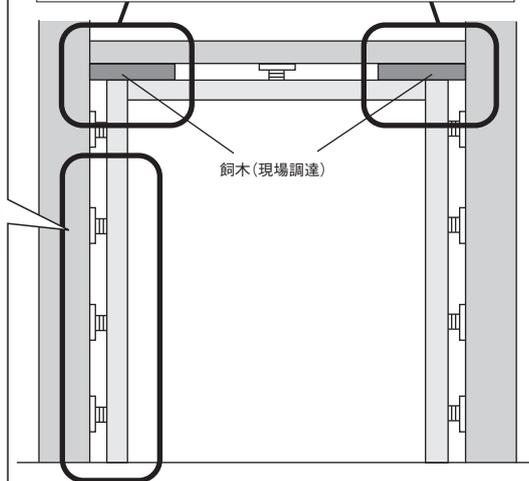


⚠ 注意

インパクトドライバーのトルクを強くすぎると、金具が破損してしまうおそれがあります。

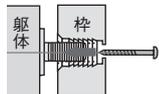
⚠ 注意

ソフトクローズ仕様の場合はトリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を入れる。
※この位置に飼木がないと、鴨居に荷重がかかってしまうおそれがあります。

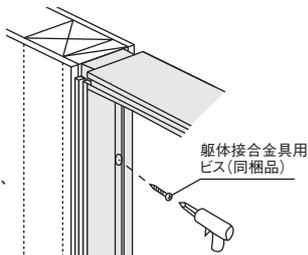


② 縦枠のビス固定

縦枠を躯体接合金具用ビスで躯体に固定させます。



枠材表面の穴よりビスを差し込み、柱と枠を固定します。(縦枠→調整→鴨居の順に固定します。)



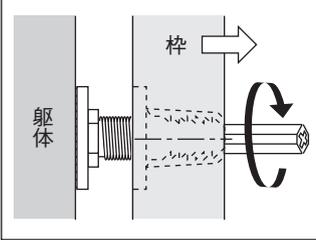
4 建て付け調整と鴨居の本固定

■ 縦枠を固定後、水準器などを使用し、縦枠、鴨居、敷居などの水平、垂直をよく確認し、縦枠と同様の手順で鴨居を固定してください。

- ① 水準器などを使用し、**a**=**b**となるよう調整してください。
併せて前後の建りも調整してください。

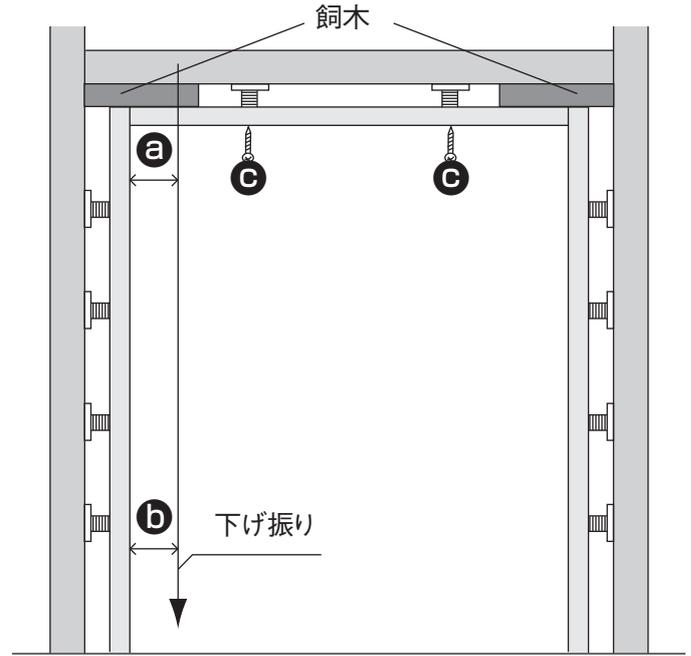
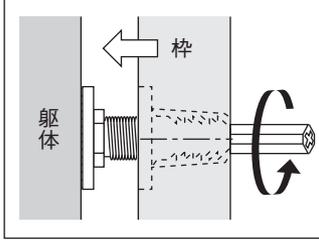
枠を内側に寄せる場合

時計回り(右回り)で調整

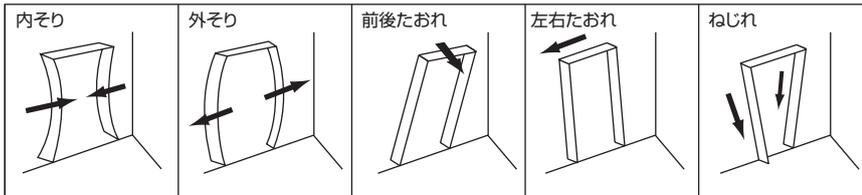


枠を外側に出す場合

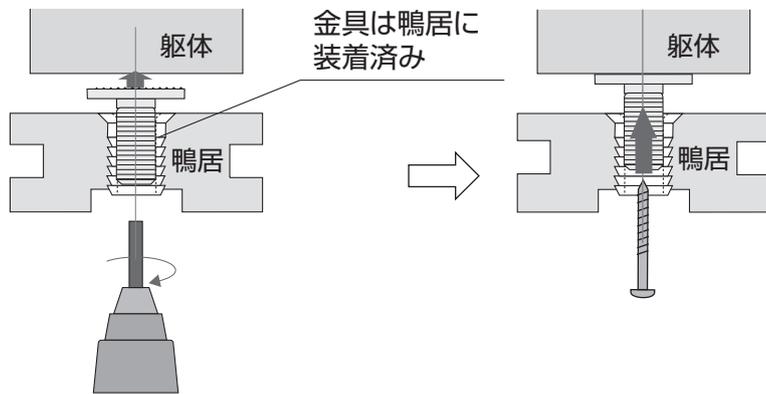
反時計回り(左回り)で調整



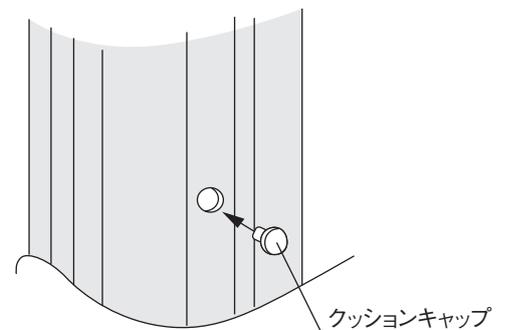
※下記の様なことがないようにご注意ください。



- ② **c**は建りを調整後、最後に固定してください。
縦枠と同様の手順で鴨居を固定します。



- ③ 縦枠を調整後、ビス穴にクッションキャップを取り付けます。



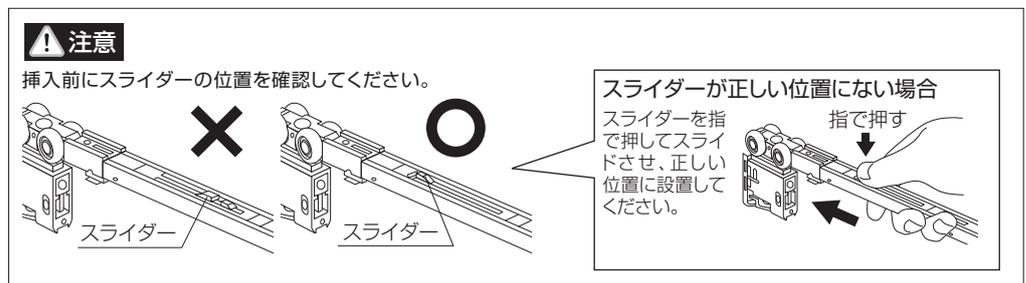
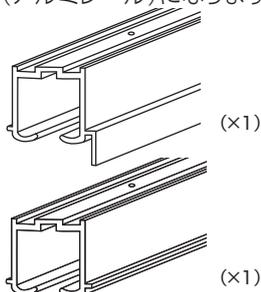
5 鴨居レールの取り付け

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

■ 幕板と鴨居レールの取り付け
幕板付きの鴨居レール(アルミレール)になります。

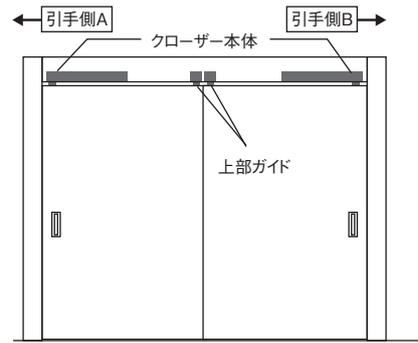
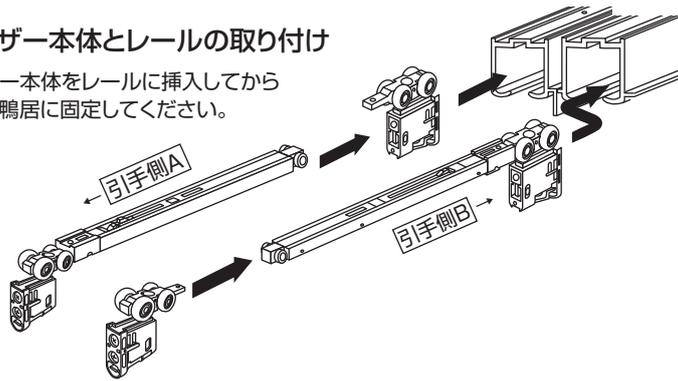
■ 吊車の挿入

鴨居レールに吊車を挿入してください。吊車はソフトクローズ機構の使用状況により下図のように向かい合わせでレールに入れてください。挿入方向を間違えると、扉が取り付けられないのでご注意ください。



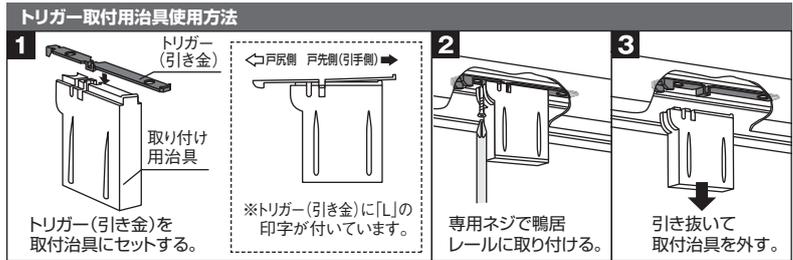
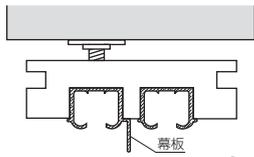
① クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してからレールを鴨居に固定してください。



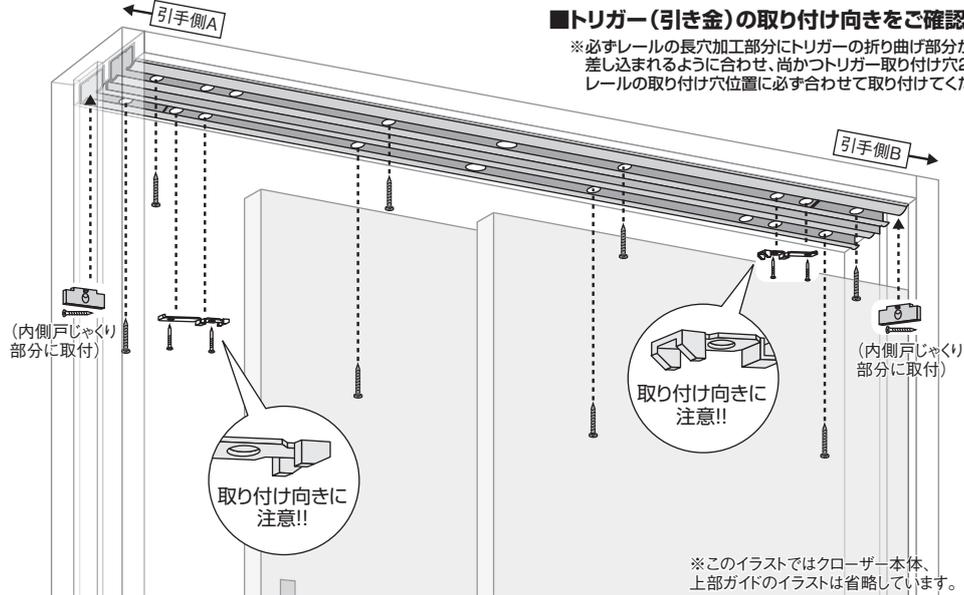
② 鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて取り付けてください。引き違い戸では片方のレールには幕板はつきません。



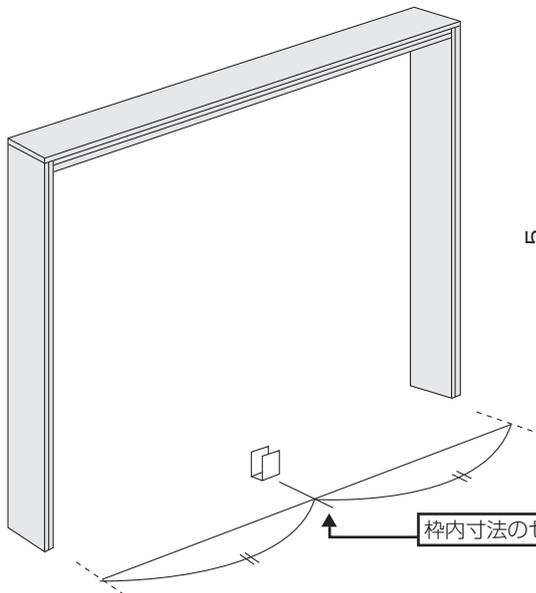
■トリガー(引き金)の取り付け向きをご確認ください。

※必ずレールの長穴加工部分にトリガーの折り曲げ部分が差し込まれるように合わせ、尚かつトリガー取り付け穴2か所をレールの取り付け穴位置に必ず合わせて取り付けてください。

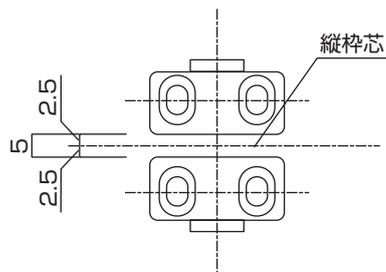


※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

5 振れ止め金具の取り付け



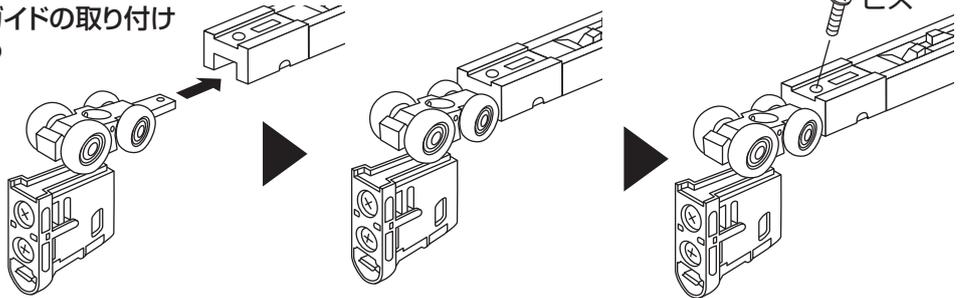
振れ止め金具取り付け位置
専用ビスでフローアに固定してください。



〈ソフトクローズ仕様の場合のみ〉

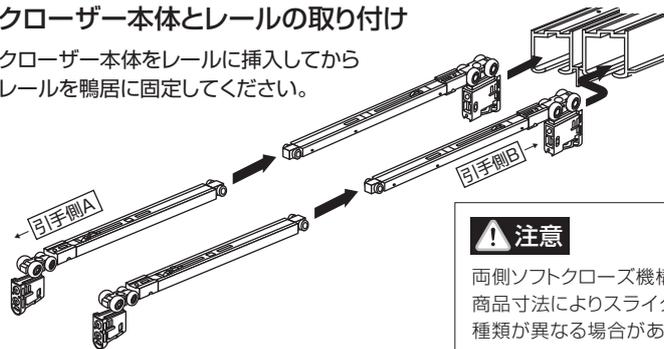
■クローザー本体と上部ガイドの取り付け

上部吊り車をクローザー本体のスライダー先端の溝にはめ込み専用のビスで取り付けてください。

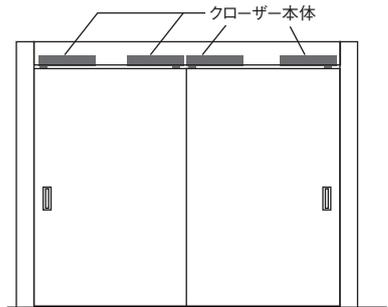


①クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してからレールを鴨居に固定してください。

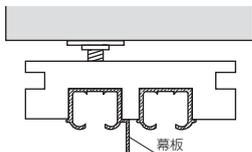


注意
両側ソフトクローズ機構ありの場合、商品寸法によりスライダーの種類が異なる場合があります。



②鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて取り付けてください。引き違い戸では片方のレールには幕板はつきません。



トリガー取付用治具使用方法

1

トリガー(引き金)を取付治具にセットする。

※トリガー(引き金)に「L」の印字が付いています。

2

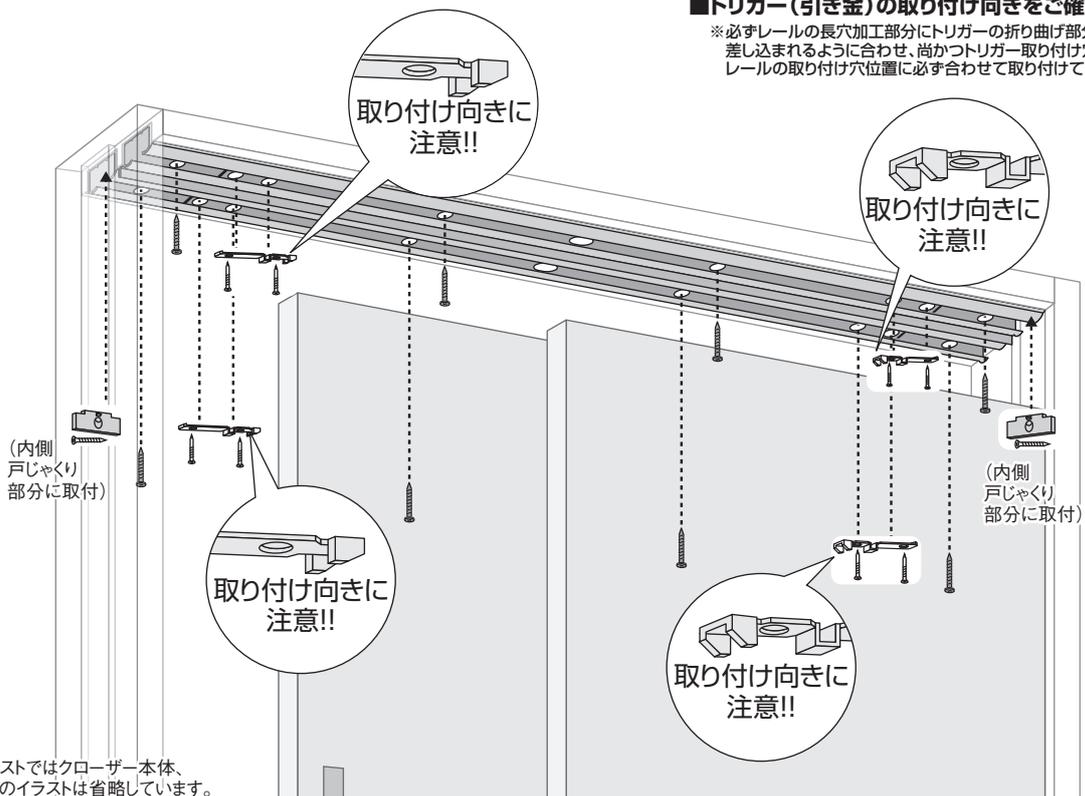
専用ネジで鴨居レールに取り付ける。

3

引き抜いて取付治具を外す。

■トリガー(引き金)の取り付け向きをご確認ください。

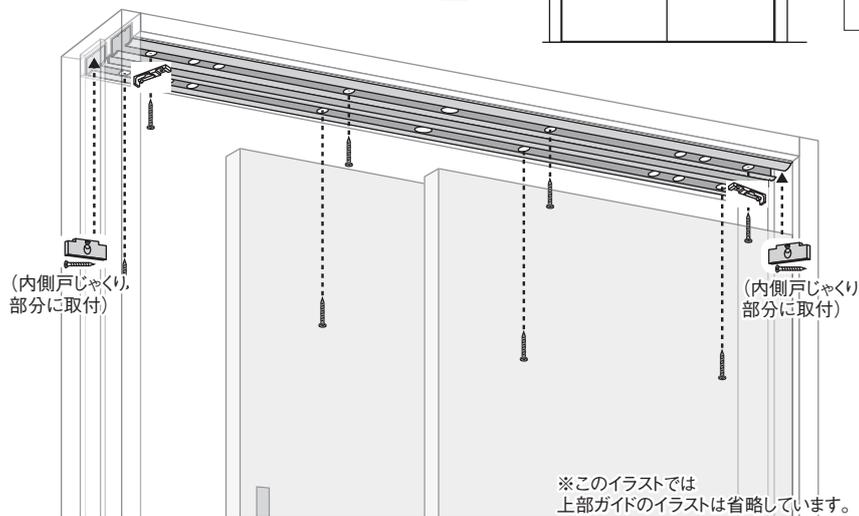
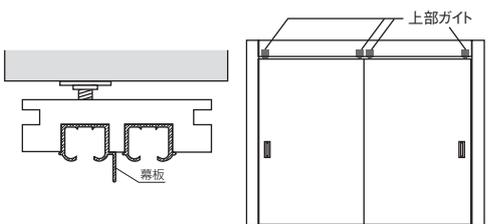
※必ずレールの長穴加工部分にトリガーの折り曲げ部分が差し込まれるように合わせ、尚かつトリガー取り付け穴2か所をレールの取り付け穴位置に必ず合わせて取り付けてください。



※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

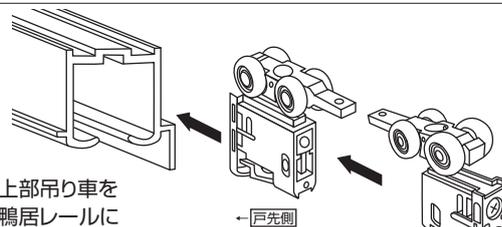
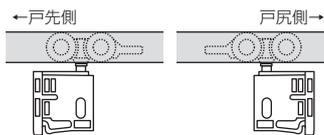
① 鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて取り付けてください。引き違い戸では片方のレールには幕板はつきません。



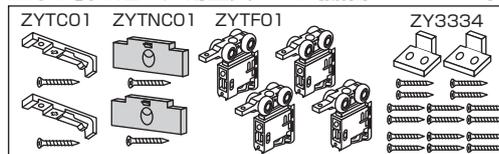
注意

レール取り付け後に吊り車の向きの変更は出来ませんので確実に取り付けを行ってください。



<同梱品>

上吊り引き違い戸用金具セット (品番:ZYTH14)



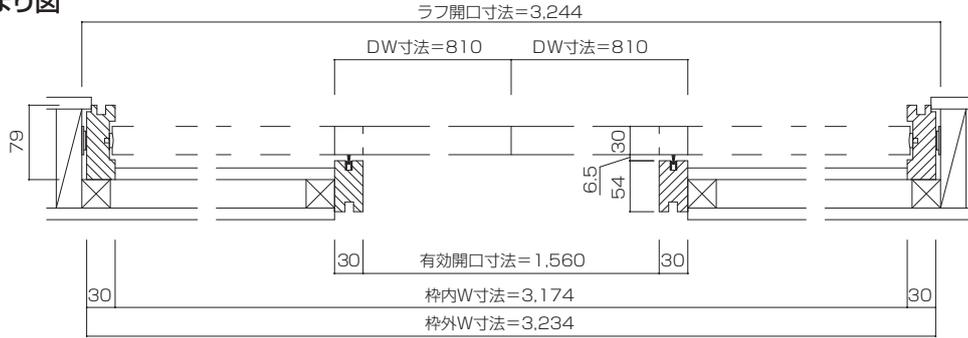
【引き分け戸】納まり図

枠本体に躯体接合金具が付いているため、下記のラフ開口に準じた施工をお勧めします。
下記レール詳細図を確認し、トリガー、ストッパーなどの取り付け位置をご確認ください。

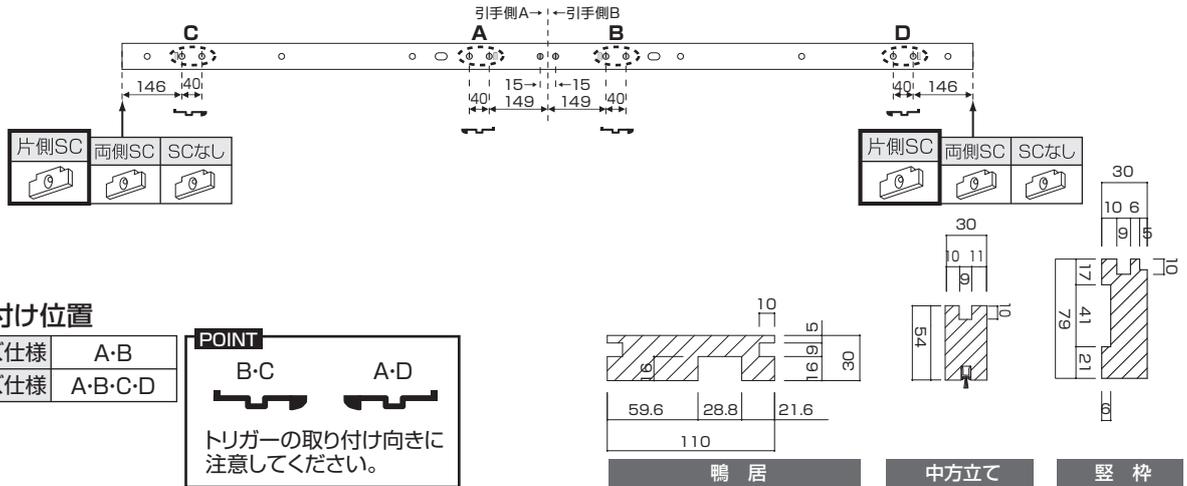
横断面図

■枠製品寸法と納まり図

(単位:mm)



■レール詳細図



■トリガー取り付け位置

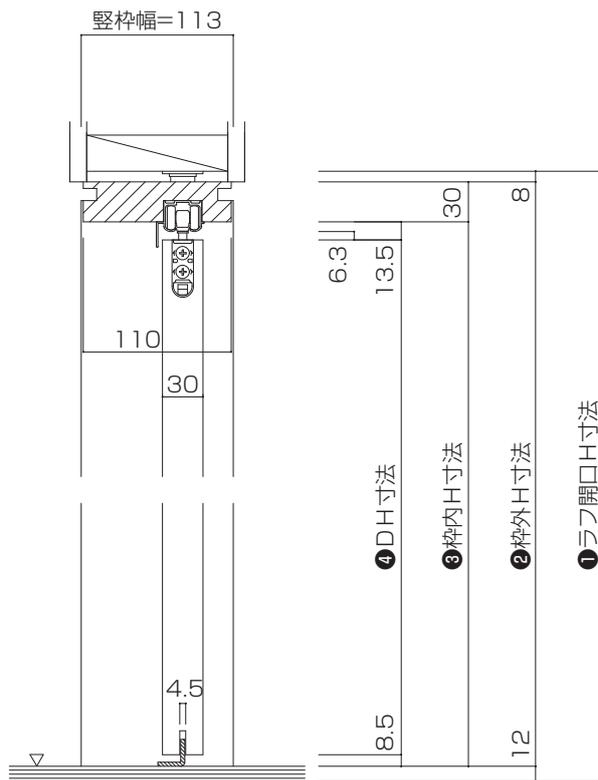
片側ソフトクローズ仕様	A・B
両側ソフトクローズ仕様	A・B・C・D



※SC…「ソフトクローズ」の略称です。

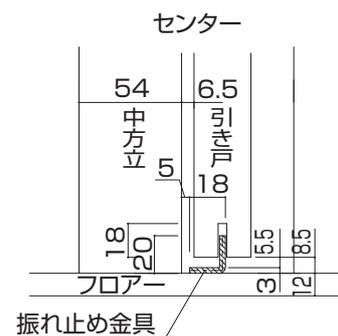
縦断面図

(単位:mm)



製品寸法	標準タイプ	ハイドア
	DH1,983	DH2,183
①ラフ開口寸法	2,055	2,255
②枠外H寸法	2,035	2,235
③枠内H寸法	2,005	2,205
④DH寸法	1,983	2,183

振れ止め金具取り付け位置

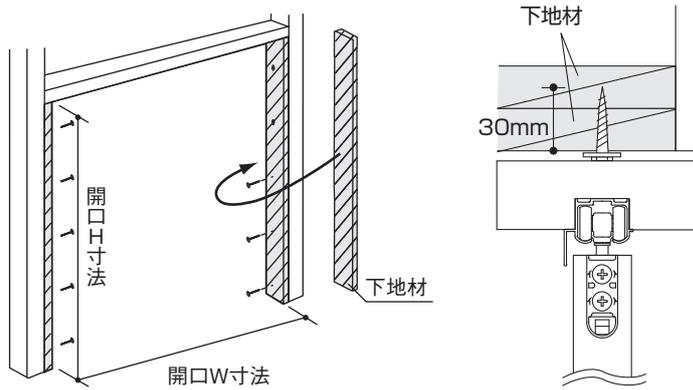


施工手順

! 施工には必ず付属の部品を使用してください。

1 取り付け開口部の確認

開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合った開口を設けてください。



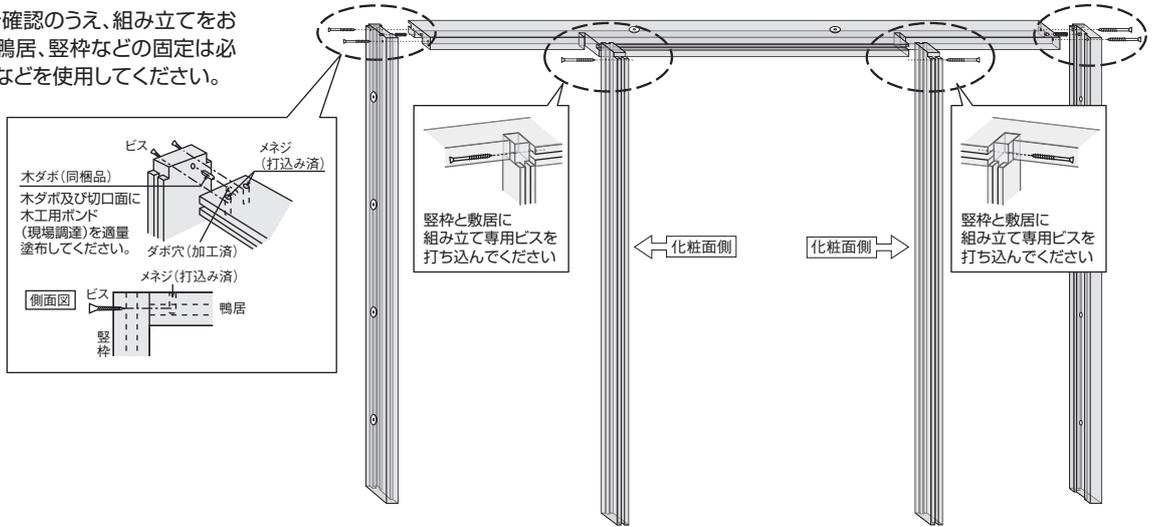
!

注意
扉の自重に対するビスの保持のアップの為、下地材は必ずダブルでとりつけて補強してください。

2 枠材の組み立て

■ 枠材を専用ビスを使用して組み立ててください。

部材の上下、左右を確認のうえ、組み立てをおこなってください。鴨居、縦枠などの固定は必ず同梱のビス・ダボなどを使用してください。



3 枠材の仮固定と縦枠のビス固定

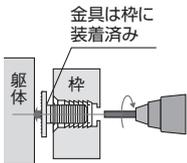
4方に組んだ枠材(床直付けレールの場合3方)を開口部にセットしてください。

本製品の枠材には躯体接合金具が装備されているので仮固定に別途パッキン材などを用意する必要はありません。

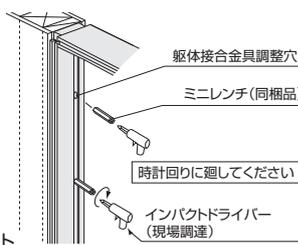
① 枠材の仮固定

開口部に枠材をはめ込み、水平と垂直、ネジレを調整し、同梱のミニレンチを使用し、躯体接合金具を突っ張らせて枠材を仮固定します。

ポイント
金具で突っ張らせて枠を仮固定する



同梱のミニレンチをインパクトドライバーにチャックして、時計回りに廻し、金具の足を柱まで伸ばします。チャックできないインパクトドライバーの場合は、ミニレンチの十字にビットを差し込んでご使用ください。

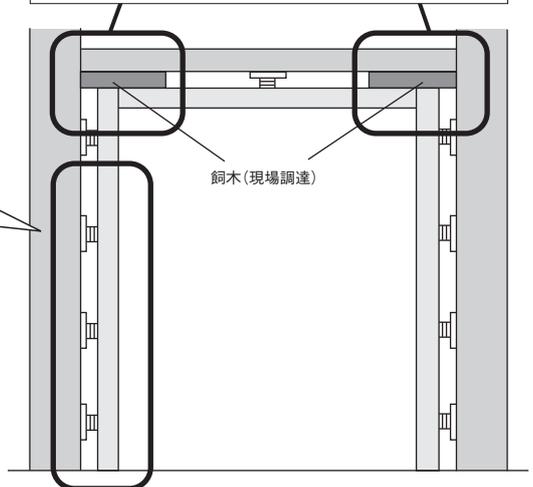


!

注意
インパクトドライバーのトルクを強くすぎると、金具が破損してしまうおそれがあります。

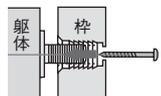
!

注意
ソフトクローズ仕様の場合はトリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を入れる。
※この位置に飼木がないと、鴨居に負荷がかかってしまうおそれがあります。

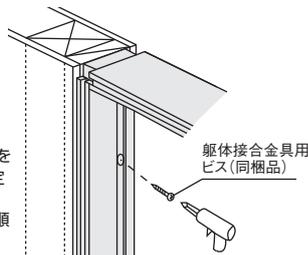


② 縦枠のビス固定

縦枠を躯体接合金具用ビスで躯体に固定させます。



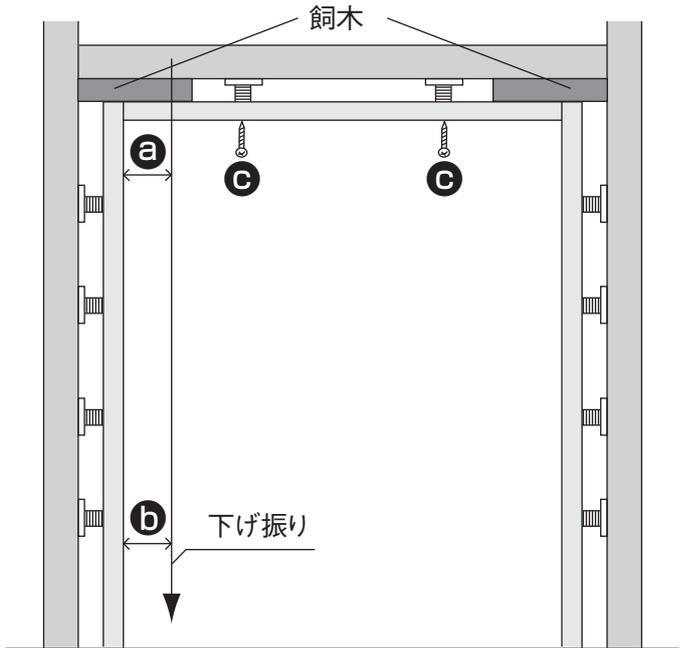
枠材表面の穴よりビスを差し込み、柱と枠を固定します。(縦枠→調整→鴨居の順に固定します。)



4 建て付け調整と鴨居の本固定

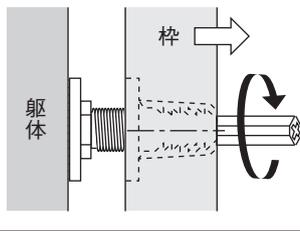
■ 竖枠を固定後、水準器などを使用し、竖枠、鴨居、敷居などの水平、垂直をよく確認し、竖枠と同様の手順で鴨居を固定してください。

- ① 水準器などを使用し、**a**=**b**となるよう調整してください。
併せて前後の建りも調整してください。



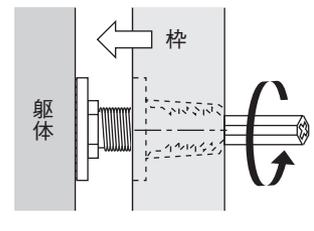
枠を内側に寄せる場合

時計回り(右回り)で調整

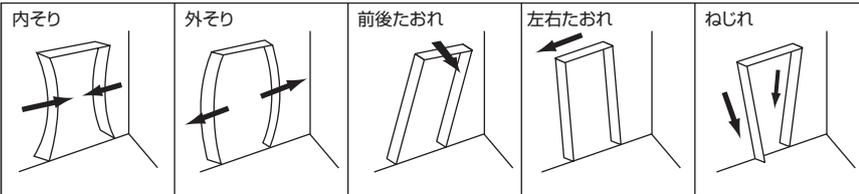


枠を外側に出す場合

反時計回り(左回り)で調整

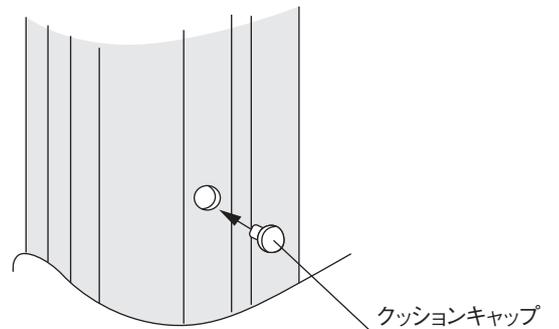
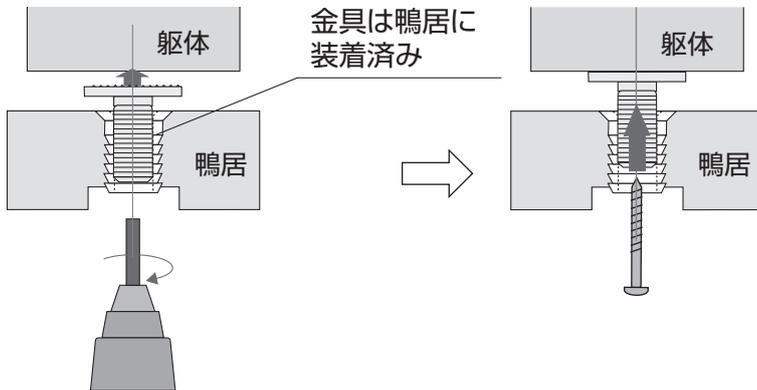


※下記の様なことがないようにご注意ください。



- ② **c**は建りを調整後、最後に固定してください。
竖枠と同様の手順で鴨居を固定します。

- ③ 竖枠を調整後、ビス穴に
クッションキャップを取り付けます。



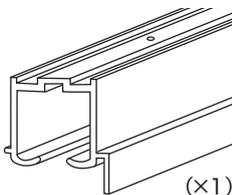
5 鴨居レールの取り付け

■ 幕板と鴨居レールの
取り付け
幕板付きの鴨居レール
(アルミレール)になります。

■ 吊車の挿入

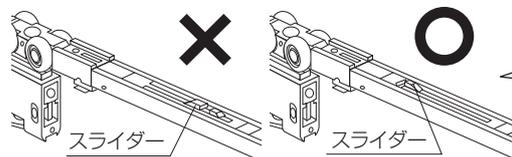
鴨居レールに吊車を挿入してください。吊車はソフトクローズ機構の使用状況により下図のように向かい合わせでレールに入れてください。挿入方向を間違えると、扉が取り付けられないのでご注意ください。

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。



⚠ 注意

挿入前にスライダーの位置を確認してください。



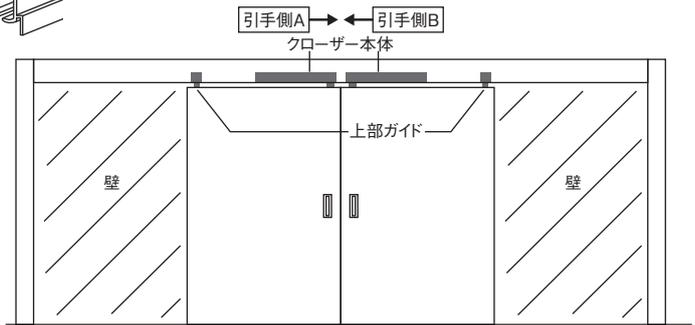
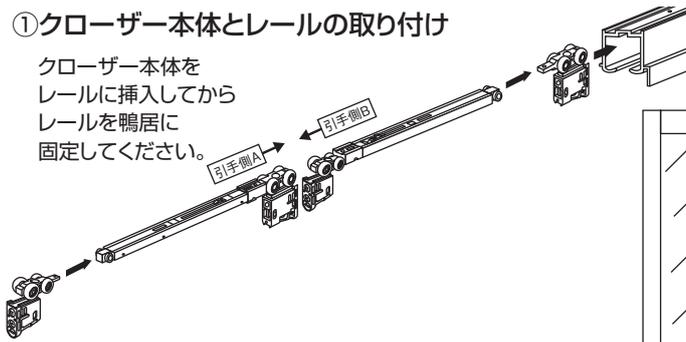
スライダーが正しい位置にない場合

スライダーを指で押してスライドさせ、正しい位置に設置してください。



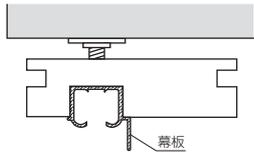
①クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してからレールを鴨居に固定してください。

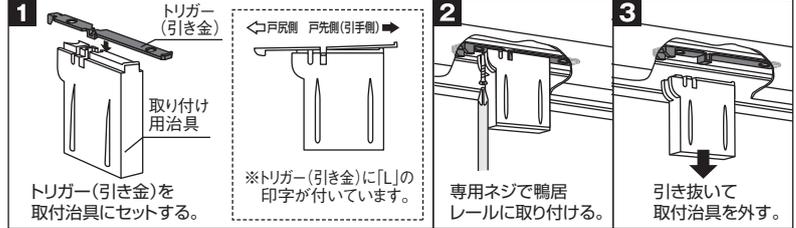


②鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて取り付けてください。

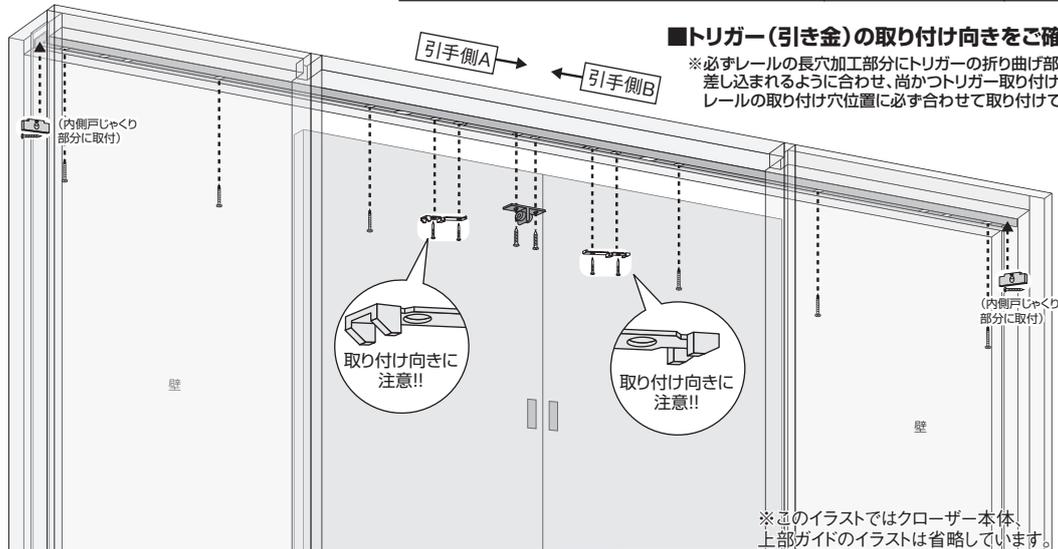


トリガー取付用治具使用方法

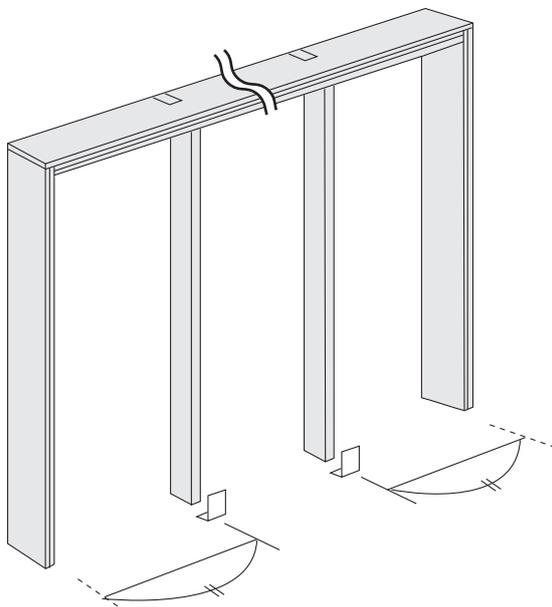


■トリガー(引き金)の取り付け向きをご確認ください。

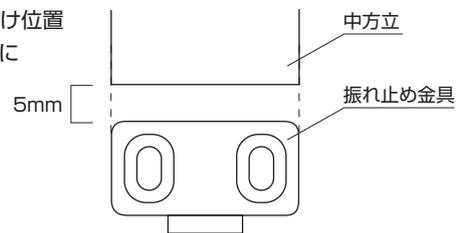
※必ずレールの長穴加工部分にトリガーの折り曲げ部分が差し込まれるように合わせ、尚かつトリガー取り付け穴2か所をレールの取り付け穴位置に必ず合わせて取り付けてください。



⑤ 振れ止め金具の取り付け



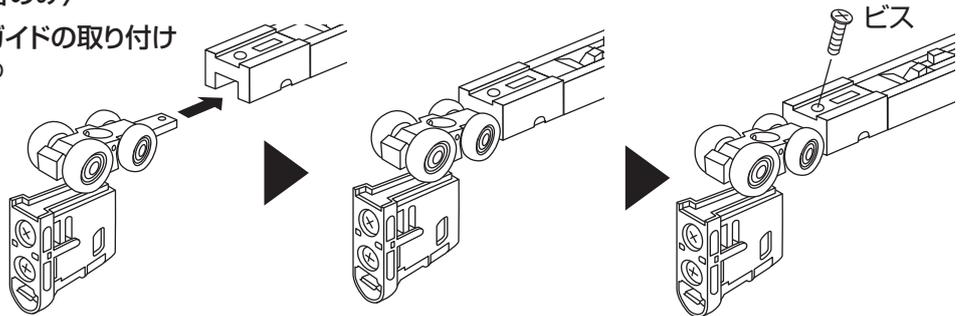
振れ止め金具取り付け位置
専用ビスでフローアに
固定してください。



〈ソフトクローズ仕様の場合のみ〉

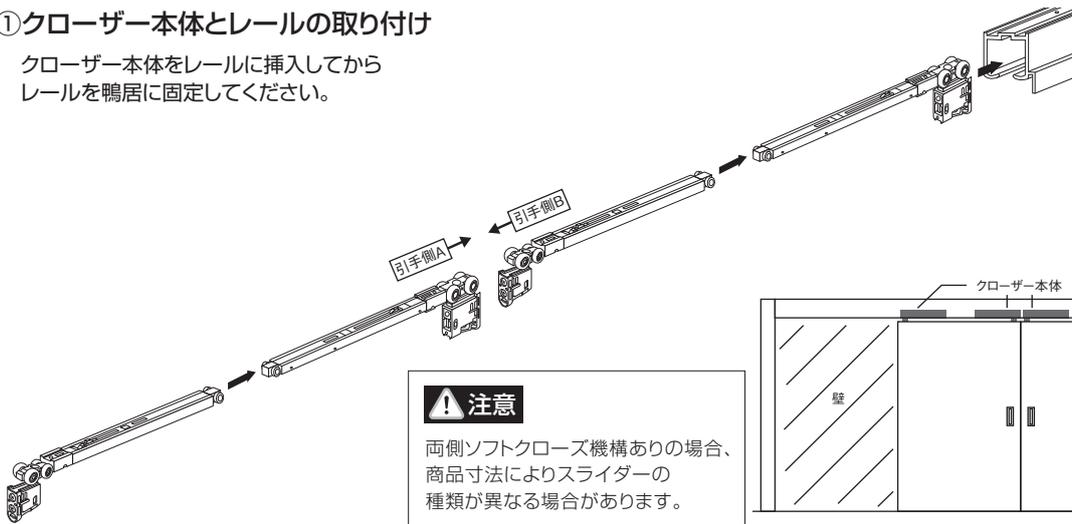
■クローザー本体と上部ガイドの取り付け

上部吊り車をクローザー本体のスライダー先端の溝にはめ込み専用のビスで取り付けてください。



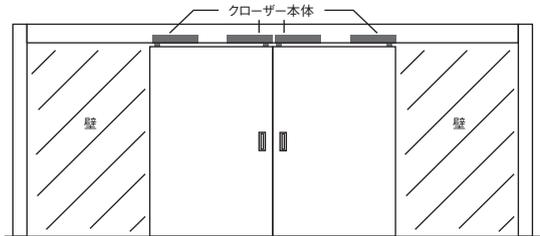
①クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してからレールを鴨居に固定してください。



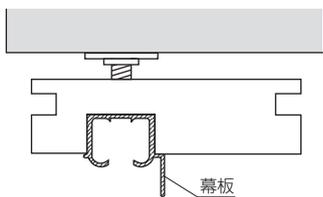
⚠ 注意

両側ソフトクローズ機構ありの場合、商品寸法によりスライダーの種類が異なる場合があります。

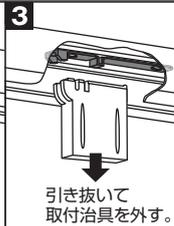
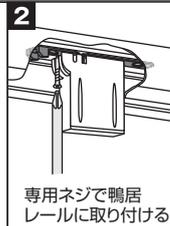


②鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて取り付けてください。

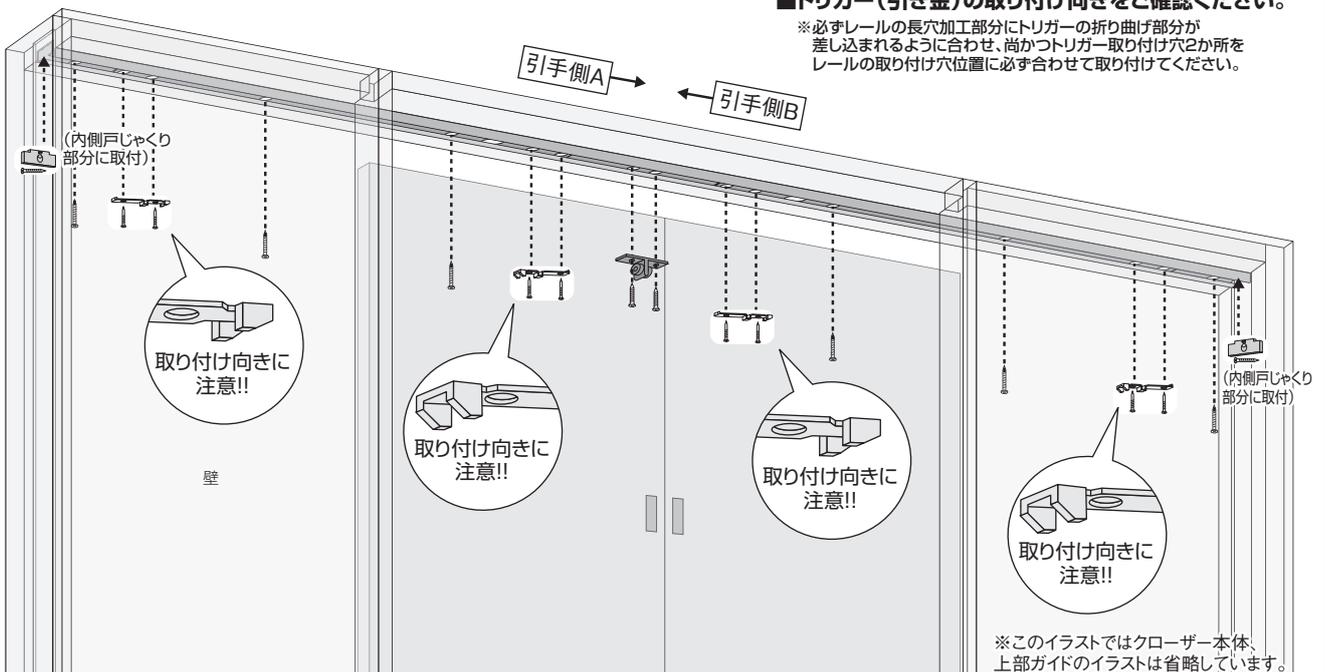


トリガー取付用治具使用方法



■トリガー(引き金)の取り付け向きをご確認ください。

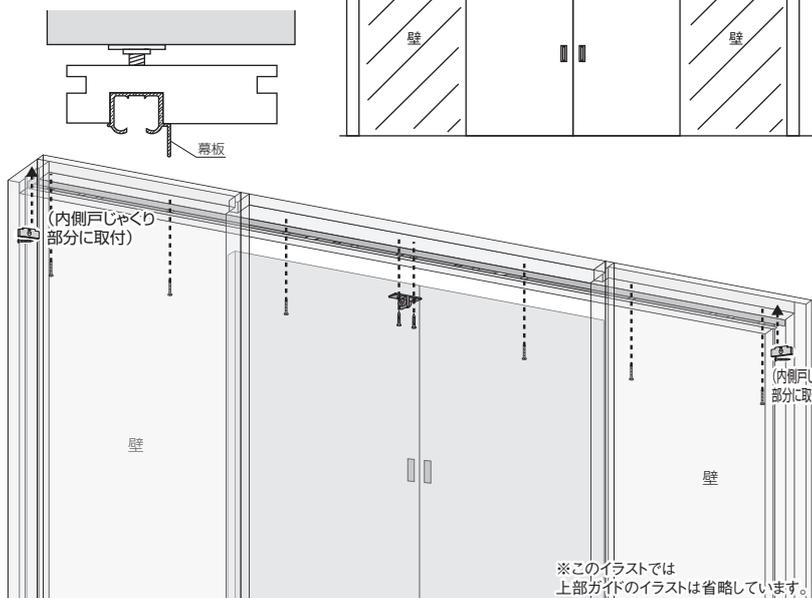
※必ずレールの長穴加工部分にトリガーの折り曲げ部分が差し込まれるように合わせ、尚かつトリガー取り付け穴2か所をレールの取り付け穴位置に必ず合わせて取り付けてください。



ソフトクローズなし オプション

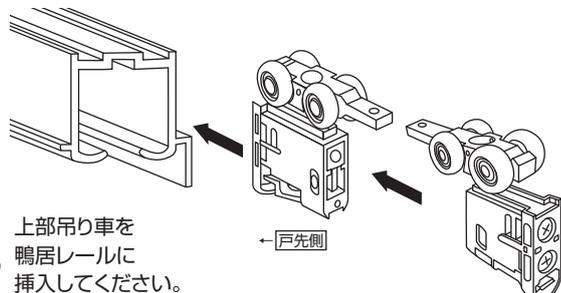
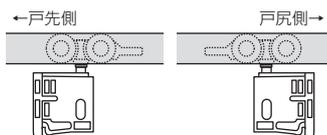
① 鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて取り付けてください。

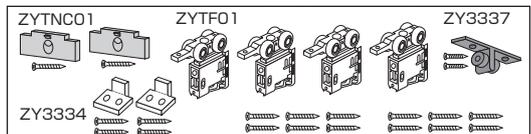


⚠ 注意

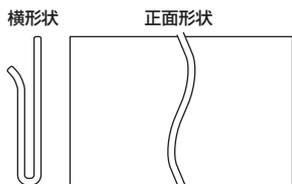
レール取り付け後に吊り車の向きの変更は出来ませんので確実に取り付けを行ってください。



＜同梱品＞ 上吊り引き分け戸金具セット(品番:ZYTL18)



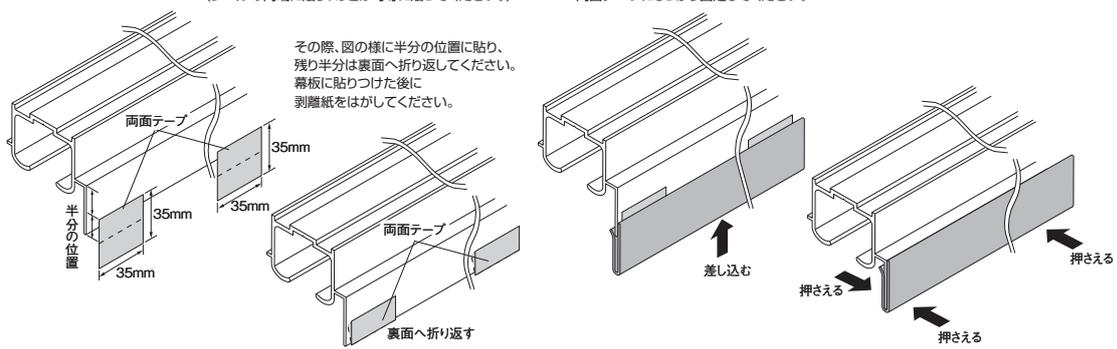
オプション 幕板カバー



品番	引き戸用幕板カバー材	
品名	ZHFM18-□	ZHFM36-□
サイズ	1,800×20×3	3,600×20×3
備考	1本/袋入り 表示ラベル貼 両面テープ1シート 両面テープは 35×35mm6枚/1シート	1本/袋入り 表示ラベル貼 両面テープ2シート 両面テープは 35×35mm角6枚/2シート

取り付け方法

- ① 幕板に付属の両面テープを貼ります。(レールの両端に貼り、あとは均等に貼ってください。)
- ② 幕板カバーの長さをカットし、幕板に差し込み、全体を指で押さえて両面テープにしっかり固定してください。



施工終了後

◆ 養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

◆ お手入れのしかた

枠材が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

